

第2次春日井市生涯学習推進計画 令和3年度進捗状況報告書

令和4年7月

春日井市文化スポーツ部文化・生涯学習課

目 次

第2次生涯学習推進計画の概要	1
計画策定の目的	2
基本理念	2
基本目標	3
施策の体系	4
令和3年度 推進計画進捗状況	10
基本目標1 学びにつながるきっかけづくり	13
施策1-1 生涯学習に関する情報提供の充実	13
施策1-2 学習活動の多様なきっかけの提供	16
基本目標2 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実	19
施策2-1 ライフステージに応じた学習機会の充実	19
施策2-2 現代的・社会的課題やニーズに対応した学習機会の充実	28
施策2-3 生涯スポーツの振興	39
施策2-4 文化芸術の振興	43
基本目標3 学んだ成果を生かせる仕組みづくり	48
施策3-1 地域の担い手となる人材の発掘及び育成	48
施策3-2 学習成果を生かす機会の充実	52
施策3-3 学習成果を生かしたまちづくりの推進	55
基本目標4 学びを豊かにする環境づくり	58
施策4-1 身近な生涯学習関連施設の充実	58
施策4-2 自主的な学習活動への支援	63
施策4-3 関係機関とのネットワークの構築	67
◆推進計画全体（計画期間4年目）の評価	69

第2次生涯学習推進計画の概要

計画策定の目的

生涯学習を通じた暮らしやすいまちを目指し、文化及び生涯スポーツの更なる振興、これまで生涯学習に取り組んでこなかった層に対する働きかけの強化、計画の進行管理及び着実な実行を推進するための数値目標の設定を盛り込み、本市における生涯学習を推進するための指針となる計画として「第2次春日井市生涯学習推進計画」を策定しました。

基本理念

市民一人ひとりが心豊かな生活を送るためには、学びを通じて一人ひとりの潜在能力を最大限伸ばすとともに、学習活動を通じた地域活動の推進、現代的・社会的な課題に対応した学習などの推進を図っていく必要があります。これを踏まえ、本計画の基本理念を次のとおりとします。

『一人ひとりの学びが地域の絆と

未来を創り出すまちづくり』

基本目標

基本理念である「一人ひとりの学びが地域の絆と未来を創り出すまちづくり」を実現するため、4つの基本目標を次のとおり定め、総合的な取組を推進します。

(1) 学びにつながるきっかけづくり

学習活動の実践へとつながるよう、さまざまな機会・手法を活用して情報を発信し、学習のきっかけづくりにつなげます。

(2) 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

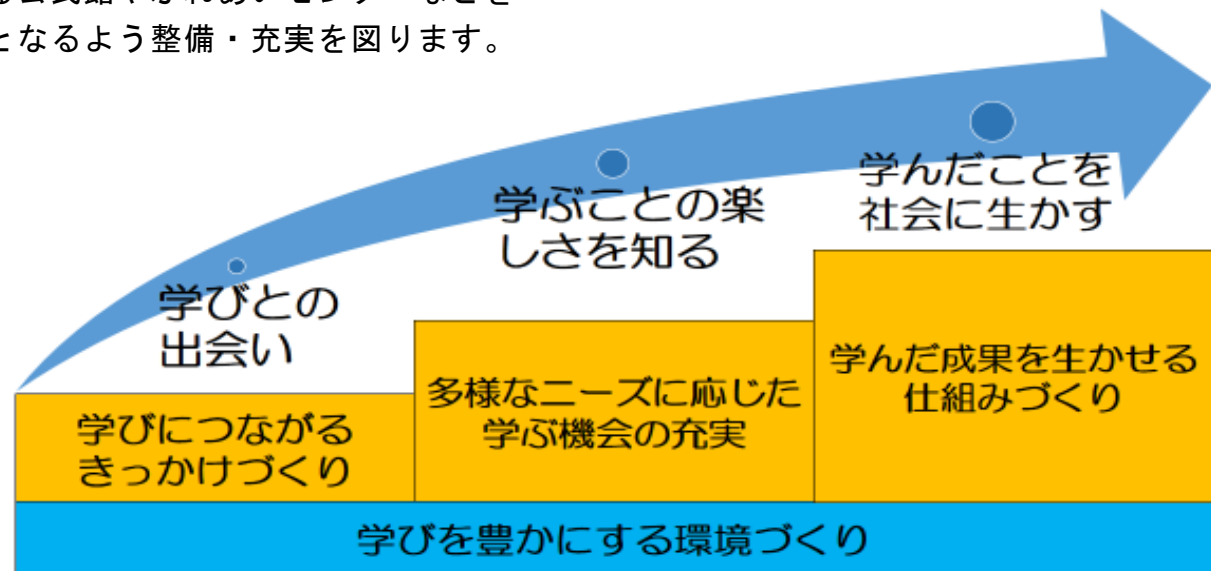
市民ニーズに応じた多様な分野の学習機会を設け、だれもが、いつでも、学ぶことができるよう充実を図ります。

(3) 学んだ成果を生かせる仕組みづくり

市民が学習を通じて身につけた知識・技能などの成果をまちづくりに生かすため、学習成果を発表する機会の確保や、学習成果を地域で広く生かせるよう支援します。

(4) 学びを豊かにする環境づくり

市民の身近な学習や活動の場である公民館やふれあいセンターなどを市民にとって利用しやすい学習施設となるよう整備・充実を図ります。



施策の体系

基本目標 1 学びにつながるきっかけづくり

1-1 生涯学習に関する情報提供の充実

学ぶことの楽しさや大切さに興味・関心を持ってもらうため、講座開催や生涯学習活動団体の情報をさまざまな機会や手法を活用して発信します。

〈具体的な取組〉

(1) 多様な媒体を活用した情報の提供

(2) 生涯学習活動団体の情報の提供

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
生涯学習情報誌「まなびや選科」の認知度	32.3%	37.0%	42.0%
生涯学習情報サイト「まなびや選科」の認知度	32.3%	37.0%	42.0%

1-2 学習活動の多様なきっかけの提供

一人ひとりが自分に合った学習方法や学習する場を選ぶことができるよう、学習活動へのきっかけづくりを行い、学習継続の動機付けとなるような取組を推進します。

〈具体的な取組〉

(1) 相談窓口機能の充実

(2) 生涯学習のきっかけとなる講座の開催

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
生涯学習に取り組んでいる人の割合	65.0%	70.0%	75.0%

基本目標 2 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

2-1 ライフステージに応じた学習機会の充実

人々が生涯にわたって充実した生活を送れるよう、ライフステージによって変化する学習課題に応じた、きめ細かな学習が主体的に行える学習機会の提供を推進します。

〈具体的な取組〉

- (1) 乳幼児期における学習機会の充実
- (2) 青少年期における学習機会の充実
- (3) 成人期における学習機会の充実
- (4) 高齢期における学習機会の充実

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
親子で参加する講座の延受講者数	5,733人	5,900人	6,100人
ふれあい教育セミナーに取り組む小中学校等数	67セミナー	69セミナー	71セミナー
かすがい熟年大学の延受講者数	7,159人	7,500人	7,900人

2-2 現代的・社会的課題やニーズに対応した学習機会の充実

市民の学習ニーズも多様化し、現代社会には多様な課題があることから、現代的・社会的課題への対応を図るための講座や市民ニーズに応じた講座を開催します。

〈具体的な取組〉

- (1) 夜間や休日に開催する講座の充実
- (2) 障がいのある人が学べる機会の充実
- (3) 就労支援や職業能力を高める学習機会の充実
- (4) 情報化・国際化社会に対応した学習機会の充実
- (5) 環境に関する学習機会の充実
- (6) 健康に関する学習機会の充実
- (7) 男女共同参画に関する学習機会の充実
- (8) 市民ニーズの的確な把握

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
公民館及びふれあいセンターなどで開催する講座の延受講者数	26,361人	27,500人	29,000人

2-3 生涯スポーツの振興

全ての市民が生涯にわたって、スポーツに取り組むことで、健やかに過ごし、地域における人々の交流が促進されるよう総合的な取組を進めます。

〈具体的な取組〉

- (1) 多目的総合運動広場の整備
- (2) コミュニティスポーツの推進
- (3) スポーツに関する学習機会の充実

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
スポーツ教室の参加人数	68,266人	70,500人	73,000人

2-4 文化芸術の振興

文化芸術を鑑賞したり、体験したりする学習機会の充実を図るとともに、歴史や文化が後世に受け継がれていくための学習機会の充実を図ります。

〈具体的な取組〉

- (1) 文化芸術の鑑賞機会の提供
- (2) 文化芸術に関する学習機会の充実
- (3) 特色ある文化の推進
- (4) 郷土文化の継承及び文化財保護意識の啓発

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
文化芸術活動をしている人の割合	14.5%	20.0%	25.0%

基本目標 3 学んだ成果を生かせる仕組みづくり

3-1 地域の担い手となる人材の発掘及び育成

地域における学習活動の活発化を図り、専門的知識を持つリーダーを始め、地域や団体活動のリーダー、ボランティアとなる人材の育成と新たな人材の発掘を図ります。

〈具体的な取組〉

(1) 指導者となりうる人材の育成

(2) ボランティアの育成

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
生涯学習情報サイトに登録されている講師者数	232人	260人	290人

3-2 学習成果を生かす機会の充実

市民が学習の成果を社会に還元できるよう、学習活動を通じて身につけた知識、技術、経験などの成果を発表する機会や成果を生かせる場の充実を図ります。

〈具体的な取組〉

(1) 学習成果を発表する機会の提供

(2) 市民自らが企画した講座の開催

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
公民館まつりの参加団体数	153団体	170団体	185団体

3-3 学習成果を生かしたまちづくりの推進

地域課題や生活課題について、市民自らが解決に取り組んでいけるような学習機会を提供するとともに、学習を通じて得た成果を、まちづくりに生かすことを推進します。

〈具体的な取組〉

- (1) 防犯、防災など安全と安心に関する学習機会の充実 (2) 住民主体による地域課題の解決に向けた学習の支援

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
学習活動を通じて身に付けた知識・技能を、地域でのまちづくりや地域の活性化のために生かしたい人の割合	7.2%	9.5%	12.0%

基本目標4 学びを豊かにする環境づくり

4-1 身近な生涯学習関連施設の充実

公民館を始めとした生涯学習関連施設が、市民にとって利用しやすい学習の場となるよう、利便性の向上や適切な維持管理による効率的な運営を目指します。

〈具体的な取組〉

- (1) 市民が利用しやすい施設の運営 (2) 施設の有効活用
 (3) 施設の適切な維持管理

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
公民館及びふれあいセンターなどの利用者数	545,177人	548,500人	552,000人

4-2 自主的な学習活動への支援

市民の自主的・自発的な学習活動を活性化するため、豊富な資料や情報の収集やICTの有効活用、サークルやグループへの支援を行います。

〈具体的な取組〉

(1) 図書館・図書室の充実

(2) ICTを活用した学習の推進

(3) 生涯学習活動団体への活動支援

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
生涯学習活動団体の会員数	14,868人	15,000人	15,000人

4-3 関係機関とのネットワークの構築

市民の学習ニーズに対応し、多様な学習活動を総合的に推進するため、市民、地域、大学などの高等教育機関、民間団体、企業等とのネットワークの強化を図ります。

〈具体的な取組〉

(1) 大学や企業などとの連携強化

(2) 近隣自治体との連携強化

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
大学連携講座の講座数	17講座	20講座	24講座

令和 3 年度 推進計画進捗状況

《共通事項》

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため5月12日～6月21日、8月31日～9月13日は各施設利用休止、主催事業中止とした。

《凡例》

計画に掲載している具体的な取り組みとその目的

施策2-1 ライフステージに応じた学ぶ機会の充実

(1) 乳幼児期における学習機会の充実（乳幼児が健やかに育める学習機会や子育て家庭を支援するような学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
乳幼児を対象とした講座 【公民館・ふれあいセンター】	運動、手遊び、読み聞かせなど親子で楽しむプログラムや親子のふれあいを提供する講座を実施する。	(1)公民館 実施数：16講座 実施講座：家族で楽しくリトミック、Let's! 親子ピクス、親子でリズム遊び♪ 受講者数：2,200人 (2)ふれあいセンター 実施数：6講座 実施講座：ベビーおやこ 受講者数：1,454人	家族で楽しくリトミックは、母親だけでなく父親の参加もあった。 親と子の間だけでなく、参加者同士でコミュニケーションを図る機会を設けることで	○

事業名：第2次推進計画掲載事業名
【 】内は担当課名・実施施設名
事業概要：各事業の概要説明

事業実施の成果・特記事項：

事業の実施により得られた成果、改善・工夫した事項について記載。

自己評価：

前年実績を基準とした自己評価

◎	想定した以上の成果が得られた。または、前年度実績を上回る成果があった。
○	概ね想定した成果が得られた。または、前年度実績と同程度の成果があった。
△	想定した目標に到達できなかったところがあった。または、前年度実績を下回る成果しか得られなかった。
×	全般的に想定した目標に到達できなかった。または、前年度と比較し、大幅に下回る成果しか得られなかった。
—	評価なし（事業の廃止、新型コロナウイルス感染防止のため事業を中止したもの）

※1 公民館・ふれあいセンター
中央公民館、知多公民館、鷹来公民館、
坂下公民館、東部公民館、
味美ふれあいセンター、高蔵寺ふれあいセンター、
南部ふれあいセンター、西部ふれあいセンター

成果指標と目標値

成果指標と目標値：計画に記載している成果指標と目標値、当該年度実績について記載。

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2021年度
親子で参加する講座の延受講者数（公民館、ふれあいセンター、青年の家、レディヤンかすがい）	5,733人	5,900人	6,100人	2,248人
ふれあい教育セミナーに取り組む小中学校等数	67セミナー	69セミナー	71セミナー	45セミナー
かすがい熟年大学の延受講者数	7,159人	7,500人	7,900人	2,380人

施策の評価

達成度（掲載事業数 25）		評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	1	<p>新型コロナウイルス感染対策を講じたうえで、様々な事業が展開されている。特にパパママ教室や育児相談では、他機関での実施が休止しているなか、それを補う形で実施し、市民に学びや相談の機会を提供とできたことは評価できる。</p> <p>ライフステージに応じた課題解決のための学びの機会が提供できるよう、今後も各世代</p> <p>施策の評価： 当該年度の達成度（自己評価）についてまとめ、施策ごとの評価を記載。</p>
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	22	
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	0	
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	0	
— 評価なし	2	

基本目標 1 学びにつながるきっかけづくり

施策 1-1 生涯学習に関する情報提供の充実

(1) 多様な媒体を活用した情報の提供（生涯学習に関する情報を様々な機会や手法を活用して適時適切に発信し、学習のきっかけづくりにつなげる。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
生涯学習情報サイト 「まなびや選科」 【文化・生涯学習課】	生涯学習情報をインターネット上で提供するシステムを活用し、公民館等で開催する講座やイベント情報を提供する。	アクセス件数：30,104件（前年度26,207件） 団体登録件数：132団体（うち新規登録0団体） 講師登録件数：298人（うち新規登録14人）	アクセス件数が増加した。	○
※事業廃止 生涯学習情報誌「まなびや選科」 【文化・生涯学習課】	公民館等で開催を予定しているさまざまな講座やイベント情報を掲載した生涯学習情報誌を発行する。	実施なし ※講座受講者へのアンケートでは、情報源として広報春日井が圧倒的多数を占めており、インターネットを利用した申し込みも増えていることから、令和元年度末で廃止した。	情報誌は令和元年度末で廃止。	—
さまざまな情報媒体を活用した情報の発信 【広報広聴課】	ツイッター、フェイスブックなどのSNSやスマートフォンアプリを活用して、講座をはじめとした生涯学習に関する情報の発信を推進する。	市民一人ひとりの求める情報を的確に提供できるよう、春日井市ホームページや公式アプリ「春ポケ」で講座情報、イベント情報を提供した。 HPアクセス件数：18,907,199件（前年より2,784,738件増） イベントカレンダーアクセス件数：49,944件 （前年より796件増）	市ホームページや市公式アプリ「春ポケ」において情報発信を行い、広く講座情報等の周知ができた。アクセス件数も増加している。	○
広報春日井 【広報広聴課】	生涯学習に関する情報を始め、市の魅力、市政情報に関するきめ細かな情報を発信するため、広報誌を発行する。	生涯学習に関する情報を始め、市政全般の情報や市の魅力を幅広く市民へ発信するため、広報誌を作成・発行した。 発行回数：年12回 発行日：毎月1日を基準日に、前月末頃に発行 仕様：A4 全面カラー 発行部数：98,000部 主な内容：市のお知らせや催し、講座情報、市の魅力情報等	公共施設だけでなく、金融機関や郵便局、医療機関、コンビニエンスストアなど、幅広い機関へ設置するとともに、新たにできた大型商業施設へも設置し、情報が手軽に取得できる環境を整備した。また、残部数調査を行い、適正な部数の設置に努	○

		<p>配布先：町内会加入世帯への配布の他、公共施設や金融機関、郵便局、医療機関、コンビニエンスストアなどに設置</p> <p>・子ども・親子向けのイベントは、地域みっちゃく生活情報誌⑩「月刊はるる」に掲載した。</p>	めた。	
--	--	---	-----	--

(2) 生涯学習活動団体の情報の提供（市民が気軽に生涯学習活動に参加できるよう、グループやサークルの情報を提供する。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
生涯学習情報サイトへの団体登録 【文化・生涯学習課】	公民館やふれあいセンター等で活動している団体の活動内容等をインターネット上で提供する。	「講師情報」「団体・サークル情報」「講座情報」などについてインターネットを通して広く提供した。 アクセス件数：30,104件（前年度26,207件） 団体登録件数：132団体（うち新規登録0団体）	生涯学習活動を行う団体の情報を発信し、インターネットを通じて情報提供できた。	○
生涯学習情報誌での活動紹介 【文化・生涯学習課】	生涯学習情報誌において、一緒に学ぶ仲間を募集している団体の活動紹介を掲載する。	実施なし ※講座受講者へのアンケートでは、情報源として広報春日井が圧倒的多数を占めており、インターネットを利用した申し込みも増えていることから、令和元年度末で廃止した。	情報誌は令和元年度末で廃止したが、各施設でポスターを掲示するなど活動紹介を行っている。さらに団体情報を紹介できる場の検討を進める。	△

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2021年度
生涯学習情報誌「まなびや選科」の認知度	32.3%	37.0%	42.0%	—
生涯学習情報サイト「まなびや選科」の認知度	32.3%	37.0%	42.0%	8.3%

施策の評価

達成度（掲載事業数 6）	評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	<p>ホームページへのアクセス件数は年々増加しており、インターネットで情報を入手する人が増えている。一方、広報の発行が1回に減少したことにより、手元に届く情報量が減少した人もある。情報格差のないよう、よりわかりやすく魅力ある情報を様々な媒体で発信することが求められる。</p> <p>知りたい人に情報を届けるためにはどのような手法が有効なのか、引き続き検討していく必要がある。</p>
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	
— 評価なし	

施策 1-2 学習活動の多様なきっかけの提供

(1) 相談窓口機能の充実（学習機会や生涯学習活動を行うグループ、サークルに関すること、学習成果の活かし方など様々な相談を行うことができる窓口の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
生涯学習指導員 【文化・生涯学習課】	市民からの生涯学習に関する相談への対応や学習情報の提供を行う生涯学習指導員を配置する。	生涯学習指導員配置状況 文化・生涯学習課 2人 松原学習センター 3人	生涯学習指導員を配置した。市民からの相談がなく、事業の企画・助言、講座の講師等が指導員の主な業務という状況が続いている。	○
ボランティア相談及び市民活動・NPO相談 【市民活動支援センター】	ボランティアや市民活動を支援するため、ボランティアの紹介や市民活動に関する相談事業を実施する。	(1)ボランティア相談 火曜日～金曜日 午前9時～正午、午後1時～5時 相談件数 941件 (4件増) (2)市民活動・NPO相談 【職員、市民活動支援に優れた相談員】 火曜日～日曜日 午前9時～午後5時 (相談内容により予約制) 【NPOスタッフ】 火曜日～金曜日 午前9時～正午、午後1時～4時 第2土曜日 午前9時～午後1時 相談件数 71件 (19件増)	窓口での対面相談や電話での相談だけでなく、団体の活動へ出向き相談を行うことができた	○

(2) 生涯学習のきっかけとなる講座の開催（生涯学習が身近なものと感じ興味関心を持つことができるよう気軽に参加できる学習機会を提供する。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
初心者向け講座 【公民館・ふれあいセンター等】	生涯学習を始めるきっかけとなるよう、さまざまな分野の初心者向けの講座を実施する。	公民館・ふれあいセンターにおいて、市民に利用しやすい学習環境を作るため、語学、健康、音楽、芸術など幅広い分野で、初心者向けの講座を実施した。	より広い会場への変更や定員数の削減など新型コロナウイルス感染対策を講じながら、様々な講座を実施できた。	○

		<p>(1)公民館 実施数：62講座（5講座中止） 実施講座：やさしい津軽三味線入門講座、色鉛筆で写真の ような塗り絵に挑戦！～入門編～、はじめての バドミントン～基本を踏まえて楽しくラリー ほか 受講者数：2,901人</p> <p>(2)ふれあいセンター 実施数：48講座（5講座中止） 実施講座：今日から始める若返り運動教室、簡単エクササ イズ～バランスボールで身体スッキリ！、手ぶ らで学べる！「着付けレッスン1年生」ほか 受講者数：1,538人</p> <p>(3)青年の家 実施数：9講座 実施講座：楽しく歌おうジャズスタンダード入門講座、子 ども和太鼓体験講座、気軽に楽しく弾ける！大 正琴入門講座ほか 受講者数：237人</p> <p>(4)市民による市民のためのチャレンジ講座 実施数：3講座 実施講座：初心者のための俳句入門、誰にでもできるやさ しいヨガ入門、はじめての絵手紙～秋を感じ ながら描いてみよう～ 受講者数：40人</p>	<p>タイトルに「入門」、「やさしい」、 「今日から始める」「体験講座」 といった言葉を盛り込み、初めて でも気軽に参加できるような工 夫をした。</p>	
--	--	--	---	--

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2021年度
生涯学習に取り組んでいる人の割合	65.0%	70.0%	75.0%	55.3%

施策の評価

達成度（掲載事業数 3）		評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	0	<p>成果指標となっている「生涯学習に取り組んでいる人の割合」は、新型コロナウイルス感染症の影響も大きいと考えられるが、2016年度と比べて約10%減少している。生涯学習とはどういったものか改めて周知を図り、生涯学習に取り組みたくなるような工夫をすることが必要である。</p> <p>生涯学習を始めるきっかけづくりとして、気軽に参加でき、学ぶことの「楽しさ」を伝えられるような講座を実施されることを期待する。</p>
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	3	
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	0	
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	0	
— 評価なし	0	

基本目標 2 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

施策 2-1 ライフステージに応じた学習機会の充実

(1) 乳幼児期における学習機会の充実（乳幼児が健やかに育める学習機会や子育て家庭を支援するような学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
乳幼児を対象とした講座 【公民館・ふれあいセンター】	運動、手遊び、読み聞かせなど親子で楽しむプログラムや親子のふれあいを提供する講座を実施する。	(1)公民館 実施数：15講座 実施講座：親子の絆を深める子守唄講座、家族で楽しくリトミック、Let's！親子ボックス、子どもの部屋ほか 受講者数：1,157人 (2)ふれあいセンター 実施数：13講座 実施講座：ファミリー運動教室、ママ・パパリトミック、夏休み子ども劇場ほか 受講者数：1,013人	親子の絆を深める子守唄講座は、子守唄を歌うだけでなく育児に関する相談をすることができた。 親と子の間だけでなく、参加者同士でコミュニケーションを図る機会を設けることができた。	○
乳幼児を対象とした講座 【保育課（子育て支援センター）】	運動、手遊び、読み聞かせなど親子で楽しむプログラムや親子のふれあいを提供する講座を実施する。	(1)育児講座 未就園児とその保護者を対象に、本の読み聞かせや親子での遊びなどの講座を通じ、育児に必要な知識を提供した。 実施数：15回（9回中止） 参加者数：125組265人 (2)親子教室 遊びを楽しみながら、親子が触れあう時間を持ったり、子育ての不安や悩みを話し合える場を作ったり、保護者の友達作りも支援した。 ・げんきっ子教室 13回（14回中止）参加者：223人 ・子育てサロン 1回（2回中止）参加者：3組6人 ・お父さんといっしょ 1回 参加者：5組12人 ・孫といっしょ 1回（1回中止）参加者：3組11人	新型コロナウイルス感染対策として、密を避けるため定員を全て10組と大幅削減して実施。緊急事態宣言による休館期間は中止となったが、開館期間は安全を確保しつつ、講座を開催することができた。	○

<p>乳幼児を対象とした講座 【子育て子育て支援館】</p>	<p>運動、手遊び、読み聞かせなど親子で楽しむプログラムや親子のふれあいを提供する講座を実施する。</p>	<p>子育て家庭の育児不安を和らげ、よりよい親子関係を育てるために、読み聞かせや体操等を通して親子で触れ合う機会を作るとともに、子どもや親同士の仲間づくりのための「出合いの場」を設けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ 39回 (10回中止) ・げんきっ子体操 151回 (40回中止) ・親子教室「ふれあい広場」 7回 ・育児講座 10回 (5回中止) ・母親のリフレッシュ講座 2回 ・つくってあそぼ 1回 <p>ほか 参加者数：8,728人</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策を講じ、内容等調整するなど、できる限り実施した。</p>	<p>○</p>
<p>乳幼児を対象とした講座 【保育課（交通児童遊園）】</p>	<p>運動、手遊び、読み聞かせなど親子で楽しむプログラムや親子のふれあいを提供する講座を実施する。</p>	<p>子育て家庭の育児不安を和らげ、よりよい親子関係を育てるとともに、子どもや親同士の仲間づくりのための「出合いの場」を設けた。</p> <p>実施数：22回 (9回中止) 内 容：体操、手遊び、リズム遊び、親子ふれあい遊び、簡単な制作あそび、季節行事など 参加者数：333人</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人数制限、時間短縮、密にならない工夫をしたうえで開催し、親子で楽しむ時間を提供できた。</p>	<p>○</p>
<p>乳幼児を対象とした講座 【図書館】</p>	<p>運動、手遊び、読み聞かせなど親子で楽しむプログラムや親子のふれあいを提供する講座を実施する</p>	<p>乳児期からの読書活動を支援するため、また家庭における読み聞かせを継続するため、親子向けの読み聞かせを行った。</p> <p>(1)ブックスタート 実施数：60回 参加者数：2,317組</p> <p>(2)赤ちゃんのためのおはなし会 ※中止期間あり 実施数：図書館 12回、西部ふれあいセンター 7回 参加者数：図書館 198人、西部ふれあいセンター 57人</p> <p>(3)紙芝居とお話を聞く会 実施数：66回 参加者数：420人</p> <p>(4)すくすく読み聞かせ会※ 実施数：6回 参加者数：44人</p>	<p>親子で絵本に親しむ機会を提供することができた。</p>	<p>○</p>

<p>パパママ教室 【子ども政策課】</p>	<p>妊婦とその夫を対象に、出産や育児等について理解を深めるよう保健師や助産師が指導を行う教室を開催する。</p>	<p>(1)パパママ教室 対象：市内在住の妊婦（妊娠6か月以降）とパートナー 1コース1回、毎月、総合保健医療センターで実施 参加者数：409人（パパ169人、ママ240人） (2)日曜パパママ教室 対象：市内在住の初産婦（妊娠7か月以降）とパートナー 毎月1回、総合保健医療センターで実施 参加者数：661人（パパ330人、ママ331人） ※日曜パパママ教室では、先輩パパの育児体験の講話を教室参加者の中から募り、先輩パパたちがバトンを繋ぐような形で実施していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、DVDに収録したものを視聴する形で行った。妊婦体験・育児体験も同様の理由で保健師によるデモンストレーション等で説明を行った。</p>	<p>医療機関の妊婦教室の多くが休止になっており、受講後のアンケートから「参加して安心できた」との声が多く聞かれた。</p>	<p>◎</p>
<p>親支援事業（カンガルーひろば） 【子ども政策課】</p>	<p>育児不安を抱える母親同士のグループを対象にグループミーティングを行いながら、問題解決の糸口が見つかるよう支援する。</p>	<p>育児不安を抱える母親を対象に、育児不安の軽減、育児スキルの向上、孤立感の解消と仲間づくり等を目的として、育児指導やグループミーティングを行った。 対象：7か月～1歳頃の子どもと母親 定員：15組 6グループ実施 スタッフ：臨床心理士、保健師、保育士、歯科衛生士 参加者数：68人</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため回数が制限される中、1グループ2回を1グループ1回に変更して実施することで、より多くの人に対応することができた。</p>	<p>○</p>
<p>育児相談 【子ども政策課・保育課 ほか】</p>	<p>子育ての不安や孤立感が軽減するよう、電話や面接、Eメールで子育ての不安や悩みの相談を受ける。</p>	<p>主に就学前児童の親の育児不安や孤立感を解消するよう、乳幼児の子育てに関する相談に対し、助言や情報提供を行った。 (1)子育て子育て総合支援館 実施日時：火曜日～日曜日 9：00～18：00 相談件数：電話57件、面接159件、合計216件 (2)子育て支援センター 実施日時：月曜日～金曜日 9：00～16：00 電話相談：50件 面接相談：59件 (3)児童センター 実施日時：火曜日～日曜日 9：30～16：00 相談件数：68件 (4)東部子育てセンター 実施日時：月曜日～土曜日 10：00～16：00 相談件数：116件</p>	<p>緊急事態宣言のため市内全子育て施設が休館となったことにより行き場を失った利用者に対して育児相談を積極的に呼びかけたことで、面談相談の希望が多く寄せられた。新たにオンライン相談を取入れるなど、相談を積極的に受け取るように取り組み、相談件数は増加した。</p>	<p>○</p>

		<p>(5)子育て応援広場キッコロ 実施日時：月曜日～金曜日 10：00～15：00 相談件数：54件</p> <p>(6)グルッポふじとう児童館 実施日時：火曜日～日曜日 9：00～16：00 相談件数：364件</p> <p>(7)交通児童遊園 実施日時：火曜日～日曜日 9：00～18：00 相談件数：42件</p> <p>(8)すくすくEメール相談 相談件数：9件</p>		
--	--	--	--	--

(2) 青年期における学習機会の充実（青少年が豊かな人間性、社会性、公共性を身につけることができるような学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
土曜チャレンジ・アップ教室 【学校教育課】	小学生が土曜日を有意義に過ごす機会を提供するため、大学や地域の企業等の協力により、小学校においてスポーツや理科の実験等を行う。	子どもたちの自主性を高め、幅広い成長を促すとともに可能性を広げるために、地域の多様な経験や技能を持つ人材・大学・企業等の協力により、子どもたちにとってより豊かで有意義な土曜日を実現する。 実施校：12校（中止 1校） 実施回数：39回（中止 8回） 参加者数：463人	新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数は予定回数から減少したが、換気の徹底や参加人数の調整による密の回避などにより、令和2年度を上回る開催実績を実現した。	○
わいわいカーニバル 【子ども政策課】	さまざまな人との関わりや体験を通して、子どもが持つ自由で伸びやかな創造力を引き出す子どもの祭典を開催する。	新型コロナウイルス感染症対策のため、会場、日程の分散を行ったうえで開催の準備をしていたが、緊急事態宣言が発令されたため中止。 市役所1階市民ホールにおいて、告知を兼ねて行った「ふれあい作品展」のみ実施した。	—	—

子ども・親子向け講座 【子育て子育て支援館】	子どもや親子を対象に、料理、工作、体操を始めとした体験型の講座などを実施し、子どもの創造力を引き出す。	児童の健康を増進し、情操を豊かにするよう子どもや親子向けの講座を実施した。 実施数：22回（3回中止） 実施講座：子ども講座、ヒップホップ、工作教室、伝承遊び、にこにこ劇場、ミニコンサート、おいしいクッキング、ファミリークッキング、親子deクッキング、げんきっ子フェスタ・げんきっ子会議 参加者数：1,190人	新型コロナウイルス感染症対策を講じ、内容等調整するなど、できる限り実施した。	○
子ども・親子向け講座 【交通児童遊園】	子どもや親子を対象に、将棋、工作、手品、和太鼓を始めとした体験型の講座などを実施し、子どもの創造力を引き出す。	児童に健全な遊びの機会を与え、豊かな経験と楽しさを味わえるようにする。 実施数：17講座（5講座中止） 実施講座：陶芸教室、手品教室、エコ工作活動、冬の工作教室、和太鼓体験教室、移動児童館、自転車乗り方教室、将棋大会、オセロ大会 参加者数：129人	募集人数を減らし、パーティションで仕切るなど新型コロナウイルス感染症対策を行い実施した。	○
子ども・親子向け講座 【文化・生涯学習課】	子どもや親子を対象に、料理、工作、体操を始めとした体験型の講座などを実施し、子どもの創造力を引き出す。	(1)大学連携講座 実施数：4講座 実施講座：味覚の不思議～舌は食べ物の味をどうやって感じているの？、ロボットプログラミング講座、エジプト考古学者の解説付き！古代エジプトの遺跡をめぐるバーチャルツアー（ZOOM講座） ほか 受講者数：78人 (2)講師発掘・登用事業 親子で楽しむ！煌めくフラワー&ジュエリー（中止）	中学生を対象とした講座や、自宅などでも受講できるようZOOM講座を行い、これまでより受講者の幅が広がった。	○
子ども・親子向け講座 【公民館・ふれあいセンター】	子どもや親子を対象に、料理、工作、体操を始めとした体験型の講座などを実施し、子どもの創造力を引き出す。	子どもの想像力を引き出し、親子のふれあいの時間が持てるよう、小学生または小学生とその保護者を対象に体験型の講座を実施した。 (1)公民館 実施数：42講座（2講座中止） 実施講座：さあ始めよう！チアダンス、プログラミングを学んで自分だけのゲームをつくっちゃおう、間伐材でつくろう！夏休み親子クラフト体験ほか 受講者数：925人	学校の長期休暇中や土日など子どもが様々な体験をする機会を提供するとともに、親子で一緒に学んだり、ふれあったりできる時間を提供することができた。 親子講座をきっかけとして、若い世代に施設を利用してもらえる機会をつくることができた。	○

		(2)ふれあいセンター 実施数：24講座 実施講座：親子スイーツ教室、親子で学ぶ防災教室、冬休み将棋教室・春休み将棋教室 ほか 受講者数：1,228人		
子ども・親子向け講座 【青年の家】	子どもや親子を対象に、料理、工作、体操を始めとした体験型の講座などを実施し、子どもの創造力を引き出す。	子ども（小学生）対象の講座を実施した。 実施数：2講座 実施講座：子ども和太鼓体験講座、キッズ！アウトドアわくわく体験講座 受講者数：39人	親子対象ではないが、保護者にも参加してもらうことで、親子でのふれあいの時間を提供することができた。	○
子ども・親子向け講座 【男女共同参画課】	子どもや親子を対象に、料理、工作、体操を始めとした体験型の講座などを実施し、子どもの創造力を引き出す。	親子で参加できる講座を実施し、親子のふれあいの機会を設けた。 実施数：4講座 実施講座：親子ダンボール工作教室、親子で楽しむ片づけ講座 ほか 受講者数：56人	夏休みなどの子どもたちが参加しやすい日程で開講することで、幅広い年齢層の市民に利用してもらうことができた。	○

(3) 成人期における学習機会の充実（家庭生活の充実や生活課題の解決に資するような学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
ふれあい教育セミナー 【文化・生涯学習課】	親のあり方や家庭教育の大切さ等を学習する「ふれあい教育セミナー」に対して補助することで、家庭教育力と地域教育力の向上を図る。	親のあり方や家庭教育の大切さ等を学習する講座を充実させ、家庭教育力と地域教育力の向上を図った。 実施団体数：45団体（認定こども園1園、幼稚園5園、小学校28校、中学校11校） 実施回数：127回 主な講座：子どもとの会話のキャッチボールを楽しくする講座、子どもとのコミュニケーションのとり方、学校給食とアレルギー対応、地域の安全についての情報交換、命のお話 ほか	ZOOM等を活用したオンラインセミナーや資料配付によるセミナーなど開催方法を工夫する委員会もあり、様々な形で家庭教育について学ぶ機会を持つことができた。	○

家庭介護者研修 【地域福祉課】	要介護者等を在宅で介護するなど、介護に関心がある人に、家庭での介護に関する知識や技術を習得する機会を提供する。	家庭での介護に関する知識や技術を習得する機会を設ける。 実施数：3日間のコースを年2回開催 受講者数：89人	実技をまじえた講座を実施することで、より実践的な介護に関する知識や技術の習得を支援できている。受講者からも好評を得ている。	○
認知症サポーター養成講座 【地域福祉課】	認知症に関する正しい知識の普及や認知症高齢者等を介護する家族等の支援を図るため、認知症サポーター養成講座を開催する。	小中学生、地域住民等の多様な世代に対し、認知症に関する講座を実施した。 開催回数 24回 受講者数 1,270人	小中学生、地域住民等の多様な世代に対し、世代等に応じた内容で講座を開催し、認知症に関する正しい知識を普及することができた。	○
消費生活講座 【市民活動推進課】	悪質商法による被害を未然に防止するための知識や被害にあった場合の対処法等を学べる講座を開催する。	消費生活に関する諸問題について正しい知識を身に付け、適切な問題解決を図れるように講座を開催した。 実施数：12講座（3講座中止） 実施講座：派遣講座（9講座）、市等主催講座（3講座） 受講者数：235人	老人会等の団体を中心に、消費生活相談員など専門家を派遣しており、消費者被害の軽減や防止に役立っている。	○

(4) 高齢期における学習機会の充実（充実した日々を過ごし、いつまでも元気に暮らすことができるような学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
かすがい熟年大学 【文化・生涯学習課】	高齢者が充実した余暇時間を過ごすとともに学習を通じて健康で生きがいのある生活が送れるよう学習の場を提供する。	実施数：5コース 各9回（開講式・各コース5回中止） 内容：生活、歴史、文学、健康科学、芸術文化の5コースを実施 参加者数：2,380人	新型コロナウイルス感染対策として、広い会場に変更して実施することで、募集定員を確保した。	○
※事業廃止 高齢者学級 【公民館】	60歳以上の方を対象に、身近な施設で歴史、芸能、健康づくりや介護予防など幅広く学べる場を提供する。	令和元年度末に廃止。 ※年齢を問わず受講できるアラカルト形式の講座に変更し、幅広い年齢層が参加できる講座とした。	—	—

<p>高齢者の就労支援 【地域福祉課】</p>	<p>働く意欲ある高齢者の就労を後押しするため、必要な知識や技能が習得可能な講座の開催やシルバー人材センターとの連携を推進する。</p>	<p>シルバー人材センターに委託して、高齢者の健康増進や生きがいづくりにつながる講座を開催した。 開催回数：10回 受講者数：83人</p>	<p>シルバー人材センターの会員が講師を務めることで、会員の持つ技能や知識を生かす場を提供できた。</p>	<p>○</p>
<p>介護予防講師派遣事業 【地域福祉課】</p>	<p>地域の概ね10人以上の高齢者が定期的集まる場に、専門知識を持った講師を3か月程度派遣し、地域での介護予防の取組を支援する。</p>	<p>派遣回数 介護予防活動グループ化事業 29回 介護予防活動普及事業 70回</p>	<p>講師派遣事業の実施後、複数の団体会受講者が主体となって自主活動として継続できている。</p>	<p>○</p>
<p>Uターン育児塾 【子ども政策課】</p>	<p>祖父母世代に新しい育児事情の学習機会を与え、その立場から育児参加をしてもらい、出産・育児支援の充実を図る。</p>	<p>もうすぐ孫が生まれる人、または1歳未満の孫がいる祖父母を対象に、育児教室を行う。祖父母は主体的に育児を担うのではなく、新米パパママのサポーターとして活躍することを目的に実施した。祖父母世代のみでなく、パパ、ママ同伴も参加可能とした。 対象者：もうすぐ孫が生まれる人、または1歳未満の孫がいる人 内容：保健師の講話・沐浴のデモンストレーション 実施回数：2回（2回中止） 参加者数：11人 ※感染拡大防止のため、実習を保健師によるデモンストレーションに変更して実施</p>	<p>育児のサポートができるよう、祖父母世代に現在の育児を学び直してもらう機会を提供できた。 祖父母世代を含めた子育て力向上に寄与した。</p>	<p>○</p>

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2021年度
親子で参加する講座の延受講者数（公民館、ふれあいセンター、青年の家、レディヤンかすがい）	5,733人	5,900人	6,100人	2,248人
ふれあい教育セミナーに取り組む小中学校等数	67セミナー	69セミナー	71セミナー	45セミナー
かすがい熟年大学の延受講者数	7,159人	7,500人	7,900人	2,380人

施策の評価

達成度（掲載事業数 25）		評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	1	<p>新型コロナウイルス感染対策を講じたうえで、様々な事業が展開されている。特にパパママ教室や育児相談では、他機関での実施が休止しているなか、それを補う形で実施し、市民に学びや相談の機会を提供できたことは評価できる。</p> <p>また、ライフステージに応じた様々な講座が実施されている。今後も各世代の抱える課題やニーズを的確に捉え、それぞれの世代の課題を解決するための学びの機会が提供できるよう事業を進められたい。</p>
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	22	
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	0	
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	0	
— 評価なし	2	

施策 2-2 現代的・社会的課題やニーズに対応した学習機会の充実

(1) 夜間や休日に開催する講座の充実（多様なライフスタイルに対応した学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
夜間や休日における 講座の開催 【文化・生涯学習課】	公民館やふれあいセンター等において、平日の夜間や土曜、日曜、祝日に開催するさまざまな分野の講座の充実を図る。	講師発掘・登用事業で、平日に働く人も受講できるように、休日や夜間に講座を実施した。 実施数：1講座（1講座中止） 実施講座：“クラシック音楽”の楽しみ方 受講者数：8人	夜間に開催することで、若い世代（20代）の参加を得ることができた。	○
夜間や休日における 講座の開催 【公民館・ふれあいセンター・青年の家】	公民館やふれあいセンター等において、平日の夜間や土曜、日曜、祝日に開催するさまざまな分野の講座の充実を図る。	平日に働く人も受講できるように、休日や夜間に講座を実施した。 (1)公民館 実施数：71講座 実施講座：教えて！就活メイク～あなたの夢に一步近づくために～、購入前に、聞いて納得！触って安心！「androidスマホ使い方講座」、外国人生活者のための日本語基礎講座 ほか 受講者数：1,734人 (2)ふれあいセンター 実施数：28講座 実施講座：ホテルプラザ勝川男の料理塾、ゆかたの着付け教室、今日の疲れを癒す☆夜ヨガ ほか 受講者数：611人 (3)青年の家 実施数：2講座 実施講座：初心者のためのヨーガ入門講座 ほか 受講者数：27人	就職活動中の女性をターゲットにした講座を夜間に実施し、新たな受講者を獲得できた。	○

夜間や休日における 講座の開催 【男女共同参画課】	公民館やふれあいセンター等において、平日の夜間や土曜、日曜、祝日に開催するさまざまな分野の講座の充実を図る。	平日に働く人も受講できるように、休日や夜間に講座を実施した。 実施数：11講座 実施講座：女性のための相続講座、生前整理について学ぶ、簿記3級をめざして、バドミントンを楽しもう、笑育～いい親ではなく笑う親になろう～、男性の靴磨き講座 受講者数：160人	休日に開催することにより、多くの人に参加していただくことができた。	○
---------------------------------	--	---	-----------------------------------	---

(2) 障がいのある人が学べる機会の充実（障がいのある人が地域社会の中で多様な学習活動が行うことができるよう啓発活動の推進、学習の場の提供を図る。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
障がい理解のための 啓発講演会 【障がい福祉課】	障がいのある人も社会の一員として活動に参加できる環境を醸成するため、障がいに対する正しい理解と認識を深める講演会を開催する。	講演：誰もが安心して暮らせるまちづくり ともに生きていくことができる社会をめざして ～みんなでトコトン生きるために～ 日時：12月3日（金）午後1時30分～3時30分 場所：総合福祉センター（大ホール） 講師：玉木 幸則氏（一般社団法人兵庫県相談支援ネットワーク 代表理事） 内容：障がいのあるなしに関わらず、一人ひとりが安心できる暮らしや、自立、共生を実現するために地域でできることは何か。自分らしく「トコトン生きる」をキーワードに講師自らの体験をもとにしたお話	アンケート結果として約94%が「とてもよかった」「よかった」と回答しており、非常に高い満足度だったと言える。	◎

<p>障がい者を対象とした講座 【総合福祉センター】</p>	<p>パソコンの操作方法や軽運動など障がいの特性に配慮した講座を開催する。</p>	<p>パソコン講座やタブレット入門講座を実施しパソコンやタブレットの操作方法を学び、日常生活に役立てた。歌声ひろばや音楽療法では発声や呼吸法を意識しながら歌ったり、障がいの特性に配慮しながら楽器演奏などを楽しめる講座を実施した。また、運動教室等を実施し、誰でも簡単にできる運動の機会を設けた。 実施数：12講座 実施講座：音楽療法、高齢者のための音楽療法、のんびりゆったり体操教室、元気パワーアップ運動教室、声ひろば、俳句初級講座、楽しい大人の塗り絵講座、生活に役立つ書道入門 ほか 受講者数：1,044人（内、障がい者293人）</p>	<p>「音楽療法」は、昨年度に引き続き、年少から小学生までと中学生以上とに対象年齢を分け、開催日を土曜日・日曜日に実施したことで、多くの参加があった。また、歌声ひろばについても、他の講座と比較して多くの参加があった。</p>	<p>○</p>
<p>障がい者図書サービス 【図書館】</p>	<p>障がい者に学ぶ機会を提供するため、録音図書や点字図書の製作、ボランティアによる対面読書、図書無料郵送貸出を行う。</p>	<p>音訳ボランティアに録音図書製作・対面読書の実施に携わってもらった。また、点字図書についても点訳ボランティアに点字図書製作に携わってもらった。 音訳技術を学ぶ講座については、新型コロナウイルス感染対策として中止した。 ・録音・点字図書製作数 デージー図書：30種 点字データ：70種 ・対面読書：20回 実施 ・講座：音訳技術講習会（初級編） 中止 ・講座：音訳デジタル録音技術講習会 中止</p>	<p>音訳技術講習会の中止により新規ボランティアの養成はできなかったが、既存会員の積極的な活動により録音・点字図書の製作数は例年並みを確保できた。 対面読書については、感染対策を講じた上での実施に理解が進み、利用回数が前年度より増加した。</p>	<p>○</p>
<p>障害者の学びの支援に関する実践研究 【文化・生涯学習課】 ※新規</p>	<p>学校卒業後における障がい者の生涯学習について、市としての取り組み方について、NPO法人と連携して研究を行う。</p>	<p>NPO法人と連携し、文部科学省の「学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究」事業の採択を受け、障がい者の生涯学習について研究を行った。 事業名：春日井市における民間団体との連携協働による障害者生涯学習プログラムの開発 内 容： ・障害者の生涯学習実践研究講座（6回） ・スポーツ講座（サッカー、バドミントン） ・地域における障害者の生涯学習推進コンファレンス in東海北陸 令和4年1月22日（土） ・視察研修（見晴台学園、町田市生涯学習センター）</p>	<p>実践研究講座では、市の各部局から参加があり、障がい者の生涯学習について学ぶことができた。</p>	<p>○</p>

(3) 就労支援や職業能力を高める学習機会の充実（職業上の知識・技能の習得など生涯を通じて自らの職業能力の向上につながる学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
就職支援に関するセミナー 【経済振興課】	求職者の就業につなげるため、就職活動に必要な知識を得るセミナーを開催する。	近年、就職フェア自体の参加者数が減少傾向であり、就職フェア開催の周知に予算を多く割くため、また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和3年度の実施を取りやめた。	就職支援セミナーを今後も継続していくかどうかも視野に、現在の就職活動動向にあった開催方法や実施日時を検討する必要がある。より効果的な開催方法があればその方法を模索していく。	×
合同就職説明会 【経済振興課】	市内企業への就業に関心のある求職者の就業を支援するため、商工会議所が開催する合同就職説明会を支援する。	求職者が就職先を探すにあたり、業界研究や企業研究を行うために必要な知識の取得を図り、市内企業への就業につなげるための合同就職説明会を開催した。 就職フェアin春日井&小牧 実施数：1回（3月9日） 参加者数：午前50人 午後56人	現在の就職活動状況にあった時期に開催することに加え、密を避けるために午前午後の入替制として実施した。	○
ママインターン 【企画政策課】 ※NPO法人自主事業へ移行	就労を希望する母親を支援するため、市内企業等におけるインターンシップを通じて子育てをしながら働くことを体験する機会を提供する。	子育て支援やママサークルの活動を支援しているNPO法人を事業実施主体とし、将来的に自走していくことを目標に段階的に事業の自立を進め、令和3年度からはNPO法人あつとわんの自主事業として実施している。	—	—

(4) 情報化・国際化社会に対応した学習機会の充実（高度情報化への対応や豊かな国際感覚を育むための学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
ICTの活用に関する講座 【公民館・ふれあいセンター】	インターネット、タブレット、デジタルカメラなどの操作方法や活用方法を始めたとして、ICTに関する講座を実施する。	(1)公民館 実施数：15講座（2講座中止） 実施講座：プログラミングを学んで自分だけのゲームをつくっちゃおう、インターネット使いこなし講座～ZOOMにもズームアップ！～、スマホやパソコンで講座の申し込みができるまで ほか 受講者数：284人 (2)ふれあいセンター 実施数：4講座（2講座中止） 実施講座：シニアのための持ち込みタブレット講座、初めてのスマートフォン（Android）初心者編 ほか 受講者数：137人	高齢者を中心としたスマートフォン講座を実施することにより、ICT機器を使える人、使えない人の情報の格差是正に努めた。	○
ICTの活用に関する講座 【男女共同参画課】	インターネット、タブレット、デジタルカメラなどの操作方法や活用方法を始めたとして、ICTに関する講座を実施する。	操作方法を学ぶ講座を実施した。 実施数：3講座 実施講座：はじめてのZOOM体験～オンラインでビデオ通話を体験しよう～、スマートフォン体験講座、スマートフォンでLINEを楽しもう 受講者数：39人	初心者向けの内容とし参加しやすくすることで、好評を得た。	○
外国の文化にふれる講座 【文化・生涯学習課】	多文化共生社会の実現に寄与するため、外国文化の紹介や体験、親子で楽しく学ぶ外国語などの講座を実施する。	(1)大学連携講座 実施数：1講座 実施講座：『紅楼夢』を知っていますか 受講者数：28人 (2)かすがい熟年大学 実施数：1講座 実施講座：タイにおける観光の諸相 受講者数：69人	外国文化に触れる機会を提供できた。	○

<p>外国の文化にふれる講座 【公民館・ふれあいセンター】</p>	<p>多文化共生社会の実現に寄与するため、外国文化の紹介や体験、親子で楽しく学ぶ外国語などの講座を実施する。</p>	<p>(1)公民館 実施数：3講座 実施講座：韓国の歴史と文化に親しむ、親子でEnglish 受講者数：196人 (2)ふれあいセンター 実施数：2講座 実施講座：初心者向け日常英会話、おやこでいっしょにABC!①② 受講者数：133人</p>	<p>韓国語講座は、前年の初級講座に引き続き参加する受講者も多く、継続した学習機会を提供することができた。</p>	○
<p>外国の文化にふれる講座 【市民活動支援センター】</p>	<p>多文化共生社会の実現に寄与するため、外国文化の紹介や体験、親子で楽しく学ぶ外国語などの講座を実施する。</p>	<p>(1)日本語教室 ・日本語の習得及び生活に必要な知識（防犯・防災・交通安全・ごみの出し方）を身に着ける学習機会を提供 ・日本の伝統文化体験講座を年間3期に分け、各期金曜日及び日曜日コースとも全10回ずつ開催（各8回中止、各4回補講、託児は中止） (2)子どもの日本語教室 ・日本語を学習する機会を提供。年間3期に分け、各期土曜日に、全10回ずつ開催（8回中止、8回補講）</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、定員を設け、事前申込制とした。また、各教室とも8回中止としたが、補講を実施した。</p>	○
<p>わくわく！ふれあいワールド 【市民活動支援センター】</p>	<p>多文化共生を促進するため、市内に住む外国人との交流や異文化の紹介・体験を行うわくわく！ふれあいワールドを開催する。</p>	<p>異文化への理解を深めるとともに、外国人市民と日本人市民との交流を図るため、市内で活動する国際交流団体により設立された春日井市国際交流ネットワークに委託し、「わくわく！ふれあいワールド」を実施した。 開催回数：8回 実施内容：「写真で紹介する南フランスの風景と文化を楽しもう」「ベトナムの生活・文化を聞いてみませんか」「中国の文化を体験しましょう！」など、外国文化の紹介や異文化体験のイベントを開催 参加者数：136人</p>	<p>外国文化の紹介と異文化体験ができるイベントを開催したことで、交流を図ることができた。</p>	○

(5) 環境に関する学習機会の充実（環境に関する正しい認識を持ち、環境に配慮した生活を送るよう環境学習を推進する。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
市民環境アカデミー 【環境政策課】	地球温暖化、省エネルギー、身近な自然環境やその保全活動等をテーマに、座学やフィールドワーク、ワークショップを通じて学ぶ機会を提供する。	地球温暖化、リサイクル、身近な自然環境やその保全活動などをテーマに、座学やフィールドワーク、ワークショップを通して学ぶ。 第1回「地球の誕生から現在までの気候変動」 第2回「だれ一人取り残されないために ～僕の国キリバスからのメッセージ～」 第3回「食品ロスの国内事情と海外の取り組み」 第4回「ゼロカーボンシティかすがの実現に向けて」 第5回「爬虫類・両生類から見る愛知の生物多様性」 第6回「持続可能な社会形成」 受講者数：41名	対面講座を基本としながら一部オンラインによる講座を導入して実施し、環境について学ぶ機会を提供できた。	○
子ども環境アカデミー 【環境政策課】	子ども（小学4～6年生）とその保護者を対象とし、家族ぐるみで地球温暖化、自然環境保全、循環型社会等について総合的、横断的に学習する機会を提供する。	子ども（小学4～6年生）とその保護者を対象とし、家族ぐるみで環境について学び、考えることで環境まちづくりの基盤となる人材の育成を図る。 第1回「日本のカメと外国のカメ～カメを通じて外来種について知ろう～」 第2回「地球に優しいお買い物とエコ工作」 第3回「だれ一人取り残されないために～僕の国キリバスからのメッセージ～」 第4回「親子おもしろ実験室～水質調査体験と液体ちっ素を使った実験～」 第5回「海洋プラスチックをリサイクル～海洋プラスチックが万華鏡に生まれ変わる～」 受講者数：15組31名	対象を親子とすることで家族ぐるみで環境について考えてもらうことができるよう配慮した。 環境について横断的に学ぶことができる内容とするため、環境部各課担当者からなる担当者会議を設け内容を検討した。	○
エコライフセミナー 【環境政策課】	環境情報の提供と環境意識の高揚を図るため、地球温暖化や省エネルギーなど身近な視点から環境問題を考える講座を実施する。	環境情報の提供と市民の環境意識の高揚を図ることにより、環境まちづくりを推進するため実施。 講座名：夏休み子どもエコライフセミナー「竹で遊ぼう！～水でっぽう作り～」 日 時：8月4日（水） 場 所：文化フォーラム春日井、市民広場 参加者：市内小学生とその保護者10組26名 内 容：ゼロカーボンミニ講座、竹の水鉄砲作り、打ち水	工作を取り入れ、子どもに関心をもってもらえるよう配慮した。 対象を親子とすることで家族ぐるみで環境について考えてもらうことができるよう配慮した。	○

市民環境フォーラム 【環境政策課】	環境対策の推進や環境活動を行っている個人や団体等を表彰し、環境問題について学ぶ機会を提供する。	市民の環境活動への取り組みを推進し、相互の交流や環境情報の提供を目的に開催。 日 時：12月11日（土） 場 所：東部市民センター 参加者：280人 内 容：表彰 「かすがい環境賞」 「環境絵画コンクール市長賞」 基調講演 「“ざんねんないきもの”から学ぶ進化のふしぎ」	子どもに人気のある「ざんねんないきもの事典」の監修者を招くことで、子どもを中心に家族ぐるみで参加してもらえるようにした。	◎
ごみの減量と4Rの推進に関する講座 【クリーンセンター】	ごみの減量と4Rの推進を図るため、生ごみの堆肥化やごみとして処分される物品をリメイクして活用する講座などを開催する。	生ごみの堆肥化講座や、ごみとして処分される物品をリメイクして活用する講座を開催することにより、ごみの減量化と環境に対する正しい認識を持つ機会を設けた。 実施数：38講座 46回 実施講座：ぼかし作り教室、リメイク教室、包丁の研ぎ方教室、親子工作教室、自転車修理教室 ほか 受講者数：627人	講座の開催により、環境に対する認識を深め、ごみの減量と4Rを推進することができた。	○

(6) 健康に関する学習機会の充実（健康維持・増進や健康づくりへの意識高揚を図る。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
市民健康づくり講座 【健康増進課】	生活習慣を改善するきっかけづくりとなるよう、健康づくりと予防方法に対する正しい知識を身につけることができる講座を実施する。	実施数：5講座（すべてオンライン） 講座内容：ぐっすり眠れる睡眠講座、おいしくてカラダに優しい選食力講座、ポジティブ心理学、自体重を活かした筋力トレーニング、ゲーム・ネット・スマホとの上手な付き合い方 受講者数：248人	健康について考え、学ぶ機会を提供することで、健康への関心を高めることができた。前年度までの実地開催をオンライン配信に変更し、また、当初予定したライブ配信を事前収録にすることで、安全に実施することができた。配信期間を長くすることで申込者がより視聴しやすくなるよう配慮した。	○

女性のためのヘルスアップ講座 【健康増進課】	各ライフステージにおける女性を対象とした健康づくり講座を実施する。	実施回数：2回 参加人数：23人 対象及び内容：壮年期世代 更年期の対処法、健康運動 ※子育て支援施設や高齢者サロン等において多種事業が開催されているため、それらの施設等へは企業等による健康支援プログラムを積極的に活用してもらえようPRすることとし、令和3年度からは機会が少ないと想定される壮年期世代対象の更年期の対処法に限定して実施している。	年代を絞って実施することで、受講してもらいたい世代に向け効果的にPRできた。	○
お気軽健康教室 【健康増進課】	高齢期における自立度の低下を防ぎ、健康寿命の延伸を図るため、ロコモティブシンドロームや認知症の予防に効果的な軽運動を行う教室を開催する。	(1)総合保健医療センター 実施回数：38回（11回中止） 参加者数：1,142人 (2)保健センター 実施回数：37回（9回中止） 参加者数：470人	高齢期における自立度の低下の防止、健康寿命の延伸を図るための健康づくりに取り組める機会を提供できた。	○

(7) 男女共同参画に関する学習機会の充実（男女共同参画についての理解を深める。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
男女共同参画セミナー 【男女共同参画課】	あらゆる世代の方が生涯を通じて男女共同参画の視点を持ち、能力を開発、発揮し、社会のあらゆる分野へ参画していくために必要な能力を高めることができるよう講座の開催など学習機会を提供する。	女性自身が自立した個人としての意識を持ち、その能力をより高め、さまざまな分野で活躍できるよう女性の学習機会を提供した。また、男女共同参画社会の実現に向け、男女平等の意識づくりを目的としたセミナーを実施した。 (1)一般市民向け講座 実施数：3講座 実施内容：笑育～いい親ではなく笑う親になろう～、新生活を新しいワタシで始める 女性のビジネスメイク講座、男性の靴磨き講座～ピカピカの革靴で出勤しませんか～ 受講者数：38人 (2)職員・学校向け講座 実施数：3講座 実施内容：LGBTの理解 受講者数：144人	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施して開催した。	○

男女共同参画市民フォーラム 【男女共同参画課】	男女共同参画社会の実現を目指した意識啓発を目的に、市民、社会活動団体、企業、市がともに考える機会として、市民フォーラムを開催する。	「男女共同参画」について、多くの市民に知ってもらうため、男女共同参画市民フォーラムを開催した。 開催日：11月28日（日） 参加人数：130人 内 容：トークセッション 伊藤太春日井市長、藤岡伸子氏（男女共同参画審議会会長）、mirei氏（春日井広報大使） パネル展示	新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら2年ぶりに開催した。	○
ワーク・ライフ・バランスの推進 【男女共同参画課】	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を推進するため、男女共同参画情報紙「はるか」による啓発のほか、事業者等に対する出張講座を行う。	男女共同参画情報紙「はるか」で改正育児休業法の内容を案内し、男性の取得を促した。 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定セミナーを実施した。 実施数：1講座 実施講座：一般事業主行動計画策定セミナー 受講者数：13人	会場とオンラインの双方で開催した。	○

(8) 市民ニーズの的確な把握（多様化・高度化し、社会情勢に合わせて変化する市民ニーズを把握する。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
アンケートを活用した市民ニーズの把握 【文化・生涯学習課】	講座受講者へのアンケートを実施するとともにネットアンケートシステム等を活用して市民ニーズの把握を行う。	各種講座において、実施後に受講者に対しアンケート調査を行った。	アンケートによりニーズを把握するとともに、アンケート結果を講師に提供し、改善すべき点などを共有することで、講座内容の改善を図った。	○
講座を評価する仕組みの構築 【文化・生涯学習課】	市民ニーズに即した講座の開催を目指し、講座への応募状況、講座内容や講師に対する満足度などを基に、講座を評価する仕組みづくりを行う。	受講者へのアンケート調査を実施し、ニーズの把握に努めるとともに、次年度の企画に生かせるよう、各講座の応募状況や実施状況を検証し、内容の見直しを行った。	各施設等で個別に実施しているが、体系的な仕組みづくりには至っていない。	△

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2021年度
公民館及びふれあいセンターなどで開催する講座の延受講者数	26,361人	27,500人	29,000人	15,335人

施策の評価

達成度（掲載事業数 28）		評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	2	<p>市民の学習機会が縮小しないよう、感染対策を講じて会場で開催したり、オンラインを併用したり、様々な工夫をして積極的に学習機会の提供を行っている。</p> <p>今後も、情報化、環境、健康、男女共同参画など各種の社会的課題に対応した学習機会が提供できるよう、着実に事業を進められたい。</p>
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	23	
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	1	
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	1	
— 評価なし	1	

施策 2-3 生涯スポーツの振興

(1) 多目的総合運動広場の整備（スポーツ環境の充実や健康の維持増進を図る。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
多目的総合運動広場の整備 【スポーツ課】	スポーツ環境の充実や健康の維持増進を図るため、朝宮公園に公園全体でスポーツ振興や健康社会の実現、子育て環境の充実を図り、市の魅力アップにもつながる施設として、多目的総合運動広場を新たに整備する。	朝宮公園整備工事 ・第1期整備（陸上競技場整備工事他） ・工事監理業務等委託等	陸上競技場（多目的総合運動広場）の工事、工事監理業務等委託は令和3年7月をもって完了し、8月から一般供用を開始した	○

(2) コミュニティスポーツの推進（コミュニティスポーツの推進を図る。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
総合型地域スポーツクラブの支援 【スポーツ課】	健康・体力づくり運動に関する啓蒙と事業実施を行う学校区体育振興会を育成し、地域スポーツの振興を図る。	(1)地域住民のスポーツ・レクリエーションの普及振興を図るため、春日井市スポーツ協会を通じて各学校区体育振興会に補助金を交付した。 (2)学校区体育振興会交流大会 新型コロナウイルス感染対策として中止	感染対策を講じながら、一部の振興会で実施することができた。	○
スポーツ推進委員 【スポーツ課】	地域のスポーツ大会、スポーツ教室等の実施に関する連絡調整及び指導・助言や健康・体力づくりの実技指導を行うスポーツ推進委員の充実を図る。	地域スポーツ振興のリーダーとして各地域活動の活性化を促すよう、実技研修会や講習会への参加により、スポーツ推進委員の意識高揚を図り、実践力や企画力等の資質向上に努めると共に、新たな指導者の発掘を目指した。 また、全委員を対象にラジオ体操指導員資格を取得するよう促しており、委員の約90%が取得している。 (1)春日井市スポーツ推進委員実技研修会の開催（2回）	地域等への巡回指導、レクリエーションスポーツイベント等の開催を通じ、スポーツの推進に寄与した。	◎

		(2)研修会等への参加 4市スポーツ推進委員合同研修会 (3)スポーツ推進委員の派遣 派遣件数:16件、派遣人数:41人		
ラジオ体操会 【スポーツ課】	子どもから高齢者まで、あらゆる世代の交流や健康づくりを推進するため、毎年8月の第1日曜日を「ラジオ体操の日」とし、「みんなでラジオ体操会」を実施することで、ラジオ体操の普及を図る。	(1)みんなでラジオ体操会 期 日：8月1日(日) 会 場：スポーレ春日井(朝宮公園陸上競技場) 参加人数：820人 (2)ラジオ体操! チャレンジ宣言 期 日：7月21日(水)～8月31日(火) 団 体 数：35団体 参加人数：3,705人	スポーレ春日井(朝宮公園陸上競技場)オープン記念事業として、「みんなでラジオ体操会」を開催し、あらゆる世代の交流や健康づくりに貢献した。	◎

(3) スポーツに関する学習機会の充実(日常的にスポーツやレクリエーションスポーツに親しめる機会の充実を図る。)

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
スポーツに関する講座・教室 【公民館・ふれあいセンター】	健康づくりや生きがいづくりを推進するため、各年齢層に向けて、気軽にスポーツに親しめる講座や教室を実施する。	(1)公民館 実 施 数：15講座(1講座中止) 実施講座：はじめてのバドミントン～基本を踏まえて楽しくラリー～、パラスポーツ「ボッチャ」を体験しよう ほか 受講者数：890人 (2)ふれあいセンター 実 施 数：36講座(2講座中止) 実施講座：ノルディックウォーキング教室、ファミリー運動教室 ほか 受講者数：2,097人	気軽にスポーツに親しむ機会を提供できた。 パラスポーツを体験する機会を提供できた。	○

<p>スポーツイベント 【スポーツ課】</p>	<p>マラソン大会、スポーツフェスティバルなどを実施し、多くの市民が生涯を通じてスポーツに親しむことができるよう、各世代のニーズに合わせたスポーツへの参加機会の充実を図る。</p>	<p>(1)新春春日井リレーマラソン大会 (新型コロナウイルス感染対策として中止した新春春日井マラソン大会の代替大会) 期日：1月9日(日) 参加人数：337人 (2)かすがい！スポーツフェスティバル 規模を縮小して開催 期日：10月10日(日) 参加人数：908人 (3)レクリエーションスポーツ祭2021 新型コロナウイルス感染対策として中止 (4)第37回春日井市内高校生スポーツ大会 期日：6月26日(土)～8月4日(水) ※柔道競技のみ未開催 (5)市民体育大会 期日：4月1日(木)～3月31日(木) 参加人数：6,432人</p>	<p>一部事業が新型コロナウイルス感染症の影響により、予定通り開催することができなかったが、代替大会を行い対応した事業もある。</p>	<p>◎</p>
<p>春日井市スポーツ・ふれあい財団との連携 【スポーツ課】</p>	<p>生涯スポーツ教室や出張スポーツ講座を始め、さまざまなスポーツ教室(講座)やスポーツイベントを行う、春日井市スポーツ・ふれあい財団と連携し、スポーツに親しむ機会の充実を図る。</p>	<p>スポーツ・ふれあい財団が事業を進めていくために必要な経費を補助し、その運営の充実及び住民福祉の向上を図った。 (1)スポーツ教室(講座)の開催 生涯スポーツ教室事業、運動指導事業、地域ふれあい運動教室、出張スポーツ講座及びトレーニング教室 延回数：2,500回 参加人数：37,660人 (2)スポーツイベントの実施 泳いでいるフォームを撮影できます！、サンフロッグ杯45分間耐久リレー、日本ハンドボールリーグ春日井大会 朝宮公園陸上競技場オープン記念事業 ほか 参加人数：3,118人</p>	<p>感染対策を講じながら、朝宮公園陸上競技場オープン記念事業を始め一部事業を実施できた。</p>	<p>△</p>

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2021年度
スポーツ教室の参加人数	68,266人	70,500人	73,000人	37,660人

施策の評価

達成度（掲載事業数 7）		評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	3	<p>朝宮公園陸上競技場がオープンし、新たな拠点となるスポーツ施設が整備された。スポーツ環境の充実や市民の健康の維持増進について、着実に各事業が進められている。</p> <p>新型コロナウイルスの影響で中止を余儀なくされるなど市のスポーツ教室の参加人数は目標値には到達していないが、スポーツへの関心は年々高まっているので、今後も、地域でスポーツに親しむことができる機会や指導者となる人材の育成を進められたい。</p>
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	4	
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	0	
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	0	
— 評価なし	0	

施策 2-4 文化芸術の振興

(1) 文化芸術の鑑賞機会の提供（誰もが気軽に文化芸術に親しむことができる環境の充実に図る。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
かすがい市民文化財団との連携 【文化・生涯学習課】	かすがい市民文化財団と連携し、文化芸術の鑑賞機会の充実に図る。	かすがい市民文化財団自主事業として、美術系・舞台系・文芸系事業を実施した。 (1)美術系事業 本山ゆかり展 1,060人、やまなみ工房展2,396人、重田佑介展「しかくいけしき」 2,266人 (2)舞台系事業 シネマ歌舞伎 143人、朗読劇「この子たちの夏」 211人、反田恭平プロデュースジャパン・ナショナル・オーケストラ 715人、“のだめカンタービレ”の音楽会ピアノ版 426人、瀧川鯉八・玉川太福二人会 106人、柳下美恵のピアノdeシネマ85人	人数制限などしながら、芸術文化事業を展開し、貴重な鑑賞機会を提供することができた。	○
地域に身近な会場での鑑賞・交流機会の提供 【文化・生涯学習課】	身近な場所で文化芸術が鑑賞でき、交流できる機会を提供するため、小学校の体育館でのコンサートなどを開催する。	かすがい市民文化財団主催「かすがいどこでもアート・ドア」を実施し、各ジャンルのアーティストを市内の保育園や公民館等に派遣した。音楽部門だけでなく、日本舞踊、落語も実施。 派遣アーティスト 10組23名 実施回数 23回	幼児や高齢者など交通手段が限られる人々に芸術を身近で感じられる機会を提供することができた。	○
近隣美術館などとの連携の推進 【文化・生涯学習課】	近隣自治体にある美術館などとの連携を推進し、より展覧会などを鑑賞しやすくする事業を実施する。	熟年大学5コースのうち、芸術文化コースで県内や東濃地域の美術館の学芸員に講師を依頼し、県内美術館の展覧会の内容に合わせた講義を実施した。 ・名古屋造形大学特任教授（愛知県美術館「コートールド美術館展」） ・徳川美術館副館長	近隣美術館と連携し、受講者に美術について学ぶ機会を提供することができた。	○

(2) 文化芸術に関する学習機会の充実（文化芸術活動に気軽に参加し活動のきっかけづくりとなる講座や学ぶ機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
わ〜く書っぷ 【文化・生涯学習課】 ※令和2年度から、あ〜とふるマイタウンから移行して実施	地域の身近な場所で文化芸術に親しめるよう、書家を地域の集会所や公民館に派遣する。	書に触れる機会を提供するとともに、それぞれの地域の身近な場所において書に親しんでいただくため、市内外で活躍する書家を派遣する「わ〜く書っぷ」を実施した。 実施プログラム：3講座 実施回数：9回	市民団体や、児童に普段はできない書を体験できる機会を提供することができた。	○
かすがい文化フェスティバル 【文化・生涯学習課（かすがい市民文化財団）】	次代を担う子どもたちが茶道、華道、日本舞踊等の伝統文化を始めとしたさまざまな文化に親しみ、身近に体験できる講座を開催する。	かすがい文化フェスティバル2021 【スペシャルDAY】 スペシャルデイ 7月25日（日） オープニングコンサート 86人、11講座×2回172人 （協力：文化協会） 【夏休みワークショップ】 ワークショップ 8月1日（日）～26日（木）4講座95人 【夕涼みシネマ】 中止	子ども達に、貴重な機会を提供することができた。 新たに、囲碁や将棋など生活文化を体験できる講座を実施することができた。	○
市民美術展覧会 【文化・生涯学習課】	市民の作品発表と鑑賞の機会を提供するため、日本画、洋画、書、彫塑工芸、写真の部門での公募展を開催する。	市民の美術作品の発表と鑑賞の場を設けることにより、市民の美術文化の向上を図った。 審査：8月8日（日） 展示：8月21日（土）～29日（日） 募集部門：日本画（水墨画を含む）、洋画（油彩・水彩・版画等）、書（篆刻・刻字を含む）、彫塑工芸、写真 出品数：計643点 鑑賞者：7,200人 ※ホームページでカラー版入賞者名簿の掲載を行った。 （532アクセス）	美術作品の発表・鑑賞の機会を提供することができた。広報物のイメージ刷新により、新たに若い世代の出品者を得ることができた。	○

(3) 特色ある文化の推進（書道文化、自分史の普及・振興を図る。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
道風展 【文化・生涯学習課】	春日井市で生まれたと伝えられ、三跡の筆頭として日本書道史上に大きな足跡を残した小野道風の偉業をたたえる、全国公募の書の展覧会を開催する。	本市に誕生伝説が残る平安時代の書聖・小野道風の偉業を讃えるとともに「書のまち春日井」を全国発信し、書道文化の振興を図る目的で全国公募の書道展を開催した。 春日井展：10月31日（日）～11月7日（日） 表彰式：11月3日（水・祝） VR展：10月31日（日）～12月5日（日） 学生半紙の部巡回展：11月8日（月）～12月5日（日） JR春日井駅自由通路展示コーナー 一般部巡回展：11月下旬から、グルッポふじとう、西部ふれあいセンター、市庁舎 募集部門：一般部 第1部漢字、第2部かな、第3部近代詩文、第4部少字数、第5部小品、学生部 半紙、条幅 応募点数：一般部319点、学生部5,585点、計5,904点	「書のまち春日井」を全国発信するとともに、高いレベルの作品が数多く寄せられ、書道文化の振興を図ることができた。 前年度から実施しているVR展により、外出自粛する鑑賞者に鑑賞機会を提供することができた。	○
書に関する作品の展示 【道風記念館】	全国的にも数少ない書専門の美術館である道風記念館において、収蔵品や他施設から借用したさまざまな書作品・書関係資料を展示する。	書に関する様々な展覧会を開催した。 (1)特別展 「書の美、書の価値～つたえるということ～」 9月14日（火）～10月3日（日） (2)企画展 「私の好きな言葉展」 4月1日（木）～令和4年5月8日（日） 「おののとうふう～和様の書のひみつ～」 7月16日（金）～9月5日（日） 「書のまち春日井」 10月8日（金）～12月5日（日） 「道風の書臨書優秀作品展」 1月12日（水）～1月16日（日）※文化フォーラム春日井 (3)館蔵品展 「書の魅力」 5月19日（水）～7月11日（日） 「文字の造形」 1月6日（木）～3月6日（日） 「花を愛でる」 3月10日（木）～5月15日（日） (4)第40回道風の書臨書作品展 1月12日（水）～23日（日）	文化フォーラム春日井においても展覧会を開催するなど、開館40周年の記念事業を展開した。特別展では、空海、小野道風、藤原佐理の真筆等、非常に貴重な書の資料を展示し、貴重な鑑賞機会を提供することができた。	◎

<p>自分史作品の公募 【文化・生涯学習課 (かすがい市民文化財団)】</p>	<p>全国から出版物の寄贈を受け入れるとともに、作品公募事業を実施し、優れた作品を冊子にまとめるなど自分史作品を収集する。</p>	<p>自分史活動の振興と春日井市のPRを図り、短編の自分史作品を公募し、作品集を製作した。また、ゲスト審査員に春日井出身の歌人鈴掛真を起用した。 テーマ：「かおりのきおく」 公募数：199作品 作品集への掲載数：35作品</p> <p>※多くの人に気軽に応募してもらうため、400字から応募可能とした。公募情報は、公募に関する月刊誌やインターネットへの掲載に切り替えた。</p>	<p>インターネットからの応募を可能としたことで、北海道から沖縄まで、全国各地からの応募があった。</p>	<p>◎</p>
---	---	---	---	----------

(4) 郷土文化の継承及び文化財保護意識の啓発（歴史や文化財への関心を高めるとともに郷土の文化財や伝統文化の保護、保存、活用を図る。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己評価
<p>内津文化財祭 【文化財課】</p>	<p>文化財保護への理解を深めるとともに啓発を図るため、内々神社が所蔵する文化財の公開等を行う内津文化財祭を開催する。</p>	<p>新型コロナウイルス感染対策としてWeb開催を実施。 公開期間：令和3年5月9日（日）～6月12日（土） 内 容：イリュージョニストDAIKI Illusion in 内々神社、文化財ボランティアの会が紹介！見どころガイド、VRツアーで体験！内々神社、すみれ塚投句作品の展示 動画閲覧回数：2,708回 VR閲覧回数：3,259回</p>	<p>新型コロナウイルス感染対策としてWeb開催を実施し、文化財に親しむ機会を提要できた。文化財ボランティアによるガイド動画の公開のほか、新たにVRを導入しWeb上で見学ツアーを公開した。</p>	<p>○</p>
<p>郷土芸能出前講座 【文化財課】</p>	<p>地域の郷土芸能保存会を小学校に招き、模範演技の披露や体験・練習・発表を通して郷土芸能の保存・伝承について考える機会を提供する。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p>	<p>—</p>	<p>—</p>

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2021年度
文化芸術活動をしている人の割合	14.5%	20.0%	25.0%	12.3%

施策の評価

達成度（掲載事業数 11）		評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	2	<p>「書のまち」「自分史」という、春日井市の特色ある文化を生かした事業が着実に進められている。新型コロナウイルスの影響により芸術を鑑賞できる機会が減少する中、引き続きVRや動画配信などの手法により芸術鑑賞の機会が提供されている。</p> <p>さらなる文化芸術の振興・推進に期待する。</p>
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	8	
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	0	
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	0	
— 評価なし	1	

基本目標 3 学んだ成果を生かせる仕組みづくり

施策 3-1 地域の担い手となる人材の発掘及び育成

(1) 指導者となりうる人材の育成（地域における学習活動の活性化を図り、リーダー、ボランティアとなる人材の育成と人材の発掘を図る。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
地域をささえる人づくり講座 【市民活動推進課】	区・町内会・自治会を中心とした地域活動が安定的かつ継続的に行われるよう、地域リーダーを育成する講座を実施する。	区・町内会・自治会を中心とした地域活動が安定的かつ継続的に行われるよう、地域リーダーを育成するため、地域をささえる人づくり講座を開催した。 実施日：3月5日（土） 参加人数：12名 講師：椋山女学園大学人間関係学部 教授 谷口功	区・町内会・自治会を中心とした市民活動団体の相互の連携や活動の推進を図るとともに、地域活動を継続させるための解決策を、講義やグループワークを通して学ぶ機会を提供した。	○
春日井安全アカデミー 【市民安全課】	地域の安全について自ら考えて行動し、提言できる地域のリーダーを育成する春日井安全アカデミーを開催する。	(1)春日井安全アカデミー 市民として地域の安全を自分たちで考え、行動し安全で安心して暮らせるまちづくりを目指し、防災や防犯について学ぶ市民大学を開催した。令和3年度から、ポニターの拡充を目指し、見直しを実施。ポニターになるための資格要件として、基礎教養課程と専門課程の最低2年受講が必要であったものを、課程を一つにし、1年で取得できるようにした。 7月10日（土）入学式 64人入学 生活安全コース8講座、防災コース7講座 12月4日（土）卒業式 55人卒業 (2)安全・安心まちづくりポニター養成講座 安全アカデミーを卒業した人を対象として養成講座を開講した。 開催期間：1月25日（火）・27日（木）・28日（金） 実施内容：普通救命講習、防犯講話、防災グッズ作り	受講者の防災、防犯についての情報・知識の向上が図られ、安全・安心まちづくりポニターの増加につながった。	○

ヘルスマイト養成講座 【健康増進課】	地域において、食を通じた健康づくり活動を自主的に行う食生活改善推進員（ヘルスマイト）を養成する講座を実施する。	食生活改善推進員（ヘルスマイト）を養成する講座を実施した。 実施回数：11回 養成人数：21人	ヘルスマイトを養成することができた。 受講者数が多かったため、新型コロナウイルス感染症の影響で会場の定員に制限のあった調理実習については、2班に分け別日程で実施した。	○
まなびゃ選科（サイト）への講師登録 【文化・生涯学習課】	自分の知識や技能を他者に教えたい人と学びたい人を結びつけるため、講師を希望する人をサイトに登録することを促進する。	講師登録件数：298人（うち新規登録14人） アクセス件数：30,104件（前年度26,207件）	インターネットを通じて情報提供することができた。	○

(2) ボランティアの育成（地域における学習活動の活性化を図り、リーダー、ボランティアとなる人材の育成と人材の発掘を図る。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己評価
グルッポふじとうにおける地域住民サポーター事業 【ニュータウン創生課】	高蔵寺まなびと交流センターにおいて「地域住民サポーター」を募集し、地域住民との積極的な協働による施設運営を目指す。	地域住民サポーター登録数：131人 活動内容：花壇の手入れ ・水やり、草刈り ・花の植え替え（花壇コンクール（春日井市主催）に出場） 育児保育のサポート活動 ・児童館での育児保育事業のサポート活動	住民協働による施設運営を行うことができた。 地域住民の繋がり場となった。	○
健康マイスター養成講座 【健康増進課】	健康に関する正しい知識を持つ「健康マイスター」の養成講座を開催し、修了者のうち、希望者はボランティアとして、市などが実施する健康づくり事業に参加する。	実施期間：10月27日（水）～1月26日（水） 会 場：総合保健医療センター、保健センター 養成人数：17人 講 座 数：10講座 内 容：市の健康事情（講話）、健康マイスターボランティアの活動について（講話）、ウォーキングについて、準備運動と整理運動、学習・練習編及び確認編（実践発表会）、安全管理・救命講習、認知症予防運動 ほか	健康マイスターを養成することができた。	○

<p>人材育成セミナー 【市民活動支援センター】</p>	<p>ボランティアや市民活動で活躍する人材を育成するため、人材育成セミナーを実施する。</p>	<p>(1)市民ニーズに合った講座を開催し、市民活動を担う人材を育成した。 ・青少年ボランティアスクール 受講者延べ114人 ・オトナのボランティアスクール 受講者延べ 49人 (2)市民活動団体のニーズに合った講座を開催し、団体を担う人材を育成した。 ・組織力アップセミナー 受講者 37人 ・資金獲得セミナー 受講者 11人 ・会計セミナー 受講者 13人 ・かすがい市民活動情報サイトサポート 利用者13人 ・タイプ別コミュニケーションの取り方セミナー 受講者11人</p>	<p>新たにタイプ別コミュニケーションの取り方セミナーを実施するなど、団体の円滑な活動を支援した。</p>	<p>○</p>
<p>図書館読み聞かせボランティア養成講座 【図書館】</p>	<p>読み聞かせボランティアの必要な知識や心構え、読み聞かせの技術等を習得する養成講座を実施する。</p>	<p>図書館等において読み聞かせ事業を推進するため、読み聞かせボランティアの希望者に対し、必要な知識や心構え、読み聞かせの技術等を習得する養成講座を実施した。 実施回数：1回（3日間） 受講者数10人</p>	<p>受講者10人のうち5人が読み聞かせボランティア団体に加入し、ボランティアの充実を図ることができた。</p>	<p>○</p>
<p>情報紙「ささえ愛」 【市民活動支援センター】</p>	<p>市民活動の情報を提供するため、市内で活躍している市民活動団体の紹介や団体が実施するイベント情報を掲載した情報紙を発行する。</p>	<p>市内の市民活動の情報と市民活動支援センターのPRを目的とした情報紙「ささえ愛」を発行した。 発行部数：2,000部 発行回数：4回 情報紙配布先：市内公共施設、市内小中学校、市内高等学校、中部大学、春日井市社会福祉協議会、愛知県、他市市民活動支援センター、春日井郵便局、大垣共立銀行春日井支店等</p>	<p>市内で活躍する市民活動団体の紹介や団体が実施するイベント情報を周知できた。</p>	<p>○</p>

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2021年度
生涯学習情報サイトに登録されている講師者数	232人	260人	290人	298人

施策の評価

達成度（掲載事業数 9）		評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	0	各分野のリーダー、ボランティアの養成講座等の実施により人材育成が図られている。地域が活性化していくためには、これらの人が学んだ成果を発揮し、活躍してもらう必要がある。活躍できる場所や機会に関する情報の提供など、活動に向けた支援ができるとうい。
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	9	
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	0	
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	0	
— 評価なし	0	

施策3-2 学習成果を生かす機会の充実

(1) 学習成果を発表する機会の提供（日頃の学習成果を出し合うとともに、相互交流に繋がるよう、学習成果を発表する機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
公民館まつり 【公民館】	公民館で活動する団体が日頃の活動の成果を発表及び展示する機会として開催する。	新型コロナウイルス感染対策のため、作品展示のみ実施した。活動発表は動画撮影し、会場で放映したり、YouTubeで配信したりした。 中央公民館 展示のみ 14団体 知多公民館 中止 鷹来公民館 展示 13団体、動画館内放映 6団体 坂下公民館 展示 20団体、動画配信 7団体 東部公民館 中止	動画を撮影して館内で放映したり、インターネットで配信することで、活動成果を発表する機会を設けることができた。	○
芸能発表会 【ふれあいセンター】	ふれあいセンターで活動する団体が日頃の活動の成果を発表及び展示する機会として開催する。	新型コロナウイルス感染対策のため、作品展示のみ実施した。活動発表は動画撮影し、館内で放映した。 西部ふれあいセンター 14団体	動画を撮影して館内で放映することで、活動成果を発表する機会を設けることができた。	○
レディヤン祭 【男女共同参画課】	レディヤンかすがいを活動拠点としている利用団体が団体活動の発表を通して交流と親睦を図るとともに、男女共同参画と青少年活動等を広く市民に啓発するため、レディヤン祭を開催する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 代替企画としてレディヤンかすがいで認定団体活動写真の掲示、作品展示、啓発展示を行った。	活動の様子を紹介する機会を設けた。	○
ハーモニーフェスティバル 【青年の家】	ハーモニー春日井の利用団体が、楽器演奏などの練習成果の発表を通じて団体相互の親睦と地域住民等との交流を図るため、フェスティバルを開催する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—	—

(2) 市民自らが企画した講座の開催（市民が学習で得た知識や技術を生かせるよう市民が主体となった生涯学習の推進を図る。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
講師発掘・登用事業 【文化・生涯学習課】	さまざまな知識や技術を持った市民を募集し、応募者自らが企画した講座の講師として活躍する場を提供する。また、登用した講師を市主催講座で積極的に活用する。	応募件数：9件 採用件数：8件 （内、令和2年度中止講座の繰り越し2件） 実施数：5講座（3講座中止） 実施講座：誰でもできる！初めてのギター、歌って笑って、ウン、5才若返った！！、つるし飾り（一本飾り）を作って桃の節句を華やかに【託児付】 ほか 受講者数：43人	市民が知識・技術を生かすことができる機会を提供できた。	○
出前公民館講座 【文化・生涯学習課】	市民の身近な場所での学習機会の充実を図るため、講師発掘・登用事業で採用した講師経験者等を講師として、地域の集会施設で講座を開催する。	実施数：8講座 申請団体：地区社会福祉協議会、子ども会 実施講座：笑って楽しく認知症予防！、やさしいマジックを覚えよう ほか 受講者数：169人	新型コロナウイルス感染防止のため、申請件数は減少したが、市民が講師を務め、身近な場所での学習機会の充実を図ることができた。	○
かすがい市民大学 （仮称） 【文化・生涯学習課】	市民が講師、学生、運営者となり市民主導の学習機会の場となるかすがい市民大学（仮称）の創設について検討する。	講師発掘・登用事業をベースに検討を進めているが、具体的な運営方法等の検討には至らなかった。	先進事例等の調査・研究を進めるとともに、運営を担うことができる人材の発掘、育成についても検討を行う必要がある。	△

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2021年度
公民館まつりの参加団体数	153団体	170団体	185団体	74団体

施策の評価

達成度（掲載事業数 7）		評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	0	<p>新型コロナウイルスの影響で中止となった事業の代替案として、動画を撮影し、館内での放映やインターネット配信など、新たな手法による学習成果の発表の場が提供できている。</p> <p>学習や活動の成果を形に表すことで、これまでの学習成果の振り返りができ、さらなる学習意欲の向上につながるため、今後も、学習成果を様々な形で発表したり、生かして活動したりできる機会が創出できるとよい。</p>
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	5	
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	1	
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	0	
— 評価なし	1	

施策 3-3 学習成果を生かしたまちづくりの推進

(1) 防犯、防災など安全と安心に関する学習機会の充実（防犯・防災意識や交通安全意識の啓発、応急手当等に関する知識や技術を身につける学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
総合防災訓練 【市民安全課】	地震災害に対する参加機関との相互協力体制を確立するとともに、市民の防災意識を高めるため、防災訓練を実施する。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大リスクを考慮し、地域住民及び学生ボランティア等の参加、各種団体による展示及び体験コーナーを中止するなど規模縮小して市及び一部の防災関係機関で実施。 日 時：8月29日(日)午前7時～9時45分 会 場：藤山台小学校 参加人数：約250人	ドローンによる高層階に取り残された被災者の捜索活動や警備犬による捜索を実施したほか、新型コロナウイルス感染症対策を講じた避難所運営訓練や感染症患者、濃厚接触者などが搬送された際のトリアージ訓練を実施した。	◎
交通安全教室 【市民安全課】	交通安全意識を向上させ交通マナーを身に付けるため、幼児から高齢者まで、それぞれの発達段階やライフスタイルに合わせた体験・実践型の交通安全教室を実施する。	市内での交通事故減少を目指し、各年齢層に応じて、交通安全の基本となるルール、マナーの指導を行う交通安全教室を開催した。 実施回数 小学校交通安全教室 7回 幼児交通安全教室 19回 高齢者交通安全教室 1回 地域等における交通安全教室 13回 合計 40回	交通安全の基本となるルール、マナーを学ぶことで交通安全意識の向上を図ることができた。	○
水防訓練 【河川排水課】	河川の決壊等の水害を想定し、水防技術の向上と水防体制の充実、市民の水防に対する意識を高めるため、水防訓練を実施する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、住民参加による訓練を取りやめ、規模を縮小し、職員のみで訓練を実施した。 実 施 日：6月6日(日) 訓練会場：神領小学校(グラウンド)、庄内川河川敷 内 容：水防工法訓練 参加団体：春日井市、春日井市消防本部、春日井市消防署	市職員の防災に対する意識を高めることができた。	○

(2) 住民主体による地域課題の解決に向けた学習の支援（住民自らが地域課題に取り組み課題解決の担い手となるよう支援する。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
地域のやる気応援事業補助 【市民活動推進課】	区・町内会・自治会に対して、地域課題の解決を図るための会議等を行った後に主体的に行う新たな活動に対する費用の一部を補助する。	1団体から申し込みがあり、事業を実施した。	住民自らが地域課題について話し合いを行い、課題解決に向けた事業を行うことができた。	○
生涯学習まちづくり出前講座 【文化・生涯学習課】	市民等により構成される団体の依頼に応じ、市職員を地域の集会施設等に派遣し、行政情報や施策に関する講座を実施する。	実施数：1講座（2講座中止） 申請団体：老人クラブ 実施講座：遺跡から見た春日井の歴史 受講者数：28人	市民に身近な場所で、春日井市について学ぶ場を提供できた。	○

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2021年度
学習活動を通じて身に付けた知識・技能を、地域でのまちづくりや地域の活性化のために生かしたい人の割合	7.2%	9.5%	12.0%	3.0%

施策の評価

達成度（掲載事業数 5）		評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	1	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で以前と比べ開催規模は縮小されているが、感染状況に合わせた実践的な訓練が実施できている。災害等への対応は、その時々判断が重要となるため、実践的な訓練を通じた学びは非常に有意義である。</p> <p>住民が自らの地域の課題を見出し、解決に向け取り組んでいけるような働きかけが必要である。</p>
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	4	
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	0	
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	0	
— 評価なし	0	

基本目標 4 学びを豊かにする環境づくり

施策 4-1 身近な生涯学習関連施設の充実

(1) 市民が利用しやすい施設の運営（市民にとって利用しやすい施設の運営を図る。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
施設予約システム 【文化・生涯学習課】	インターネットで施設の空き状況の検索や利用予約等ができる施設予約システムにより、利便性の向上を図る。	インターネットを利用してスポーツ施設や文化施設の予約ができるあいち共同利用型施設予約システムを利用することで、施設利用者の利便性の向上を図った。 導入施設数：22施設	施設の窓口に行かなくても予約ができる環境を提供できた。	○
託児付き講座 【文化・生涯学習課】	小さい子どもがいる人も講座に参加できるように、託児付き講座の充実を図る。	講師発掘・登用事業 実施数：2講座 実施講座：心弾む♪社交ダンスエクササイズ、吊るし飾りをつくって桃の節句を華やかに 受講者数：24人（託児1人）	小さい子どもがいる人にも参加しやすい学習の機会を提供できた。	○
託児付き講座 【公民館・ふれあいセンター】	小さい子どもがいる人も講座に参加できるように、託児付き講座の充実を図る。	(1)公民館 実施数：5講座 実施講座：手作りアイシングクッキーでクリスマス飾ろう！、ママへのご褒美！オシャレ講座ほか 受講者数：147人（託児7人） (2)ふれあいセンター 実施数：1講座 実施講座：アーティフィシャルフラワー講座 ※味美ふれあいセンターにて、参加者以外の子どもの同伴を可とする講座を7講座実施した。 【同伴可講座】 リトミック①②（2講座）、おやこでいっしょにABC!①②（2講座）、ママ・パパリトミック①②（2講座） 受講者数：291人（託児0人）	小さい子どもがいる人にも参加しやすい学習の機会を提供できた。 託児だけでなく、「参加者以外の子どもも同伴可」とする講座も実施したことで、「子どもと同室にいられるため常に子どもに目が行き届き、安心して受講することができた」との感想が得られた。	○

託児付き講座 【男女共同参画課】	小さい子どもがいる人も講座に参加できるよう、託児付き講座の充実を図る。	子どもを持つ人も参加しやすいよう、託児付きの講座を実施した。 実施数：3講座 実施講座：子育て講座～自分を大切にする子どもを育てるために～、イラッとしない・させないコミュニケーション術、笑育～いい親ではなく笑う親になろう～ 受講者数：49人（託児12人）	託児を実施することで、受講者のニーズに応えることができた。	○
社会教育事業連絡調整会議 【文化・生涯学習課】	各公民館、ふれあいセンター等の機能の充実を目指し、各施設における課題等を共有し、課題解決のための協議を行う。	各公民館、各ふれあいセンターの機能を充実させ、施設間の情報共有を図るため、社会教育事業連絡調整会議を実施した。 実施数：12回	各施設の課題を共有し、自館の問題として解決策を検討することで、各施設の意識向上を図り、利用者の利便性の向上を図ることができた。	○

(2) 施設の有効活用（市民や団体が学習活動を行う場を提供する。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
旧藤山台東小学校施設整備 【ニュータウン創生課】	旧藤山台東小学校施設を、図書館や児童館、地域包括支援センター、コミュニティカフェ等の機能を有する地域の拠点施設として整備する。	平成30年4月に多世代交流拠点施設「高蔵寺まなびと交流センター（グルッポふじとう）」を開所。 ・高蔵寺まちづくり株式会社（指定管理者）による管理運営の実施 ・駐車場の拡幅、遊具広場の整備を実施 ・イベントの開催（年4回）	複合機能を持つ多世代交流拠点施設として、当施設内において各世代の交流が生まれている。 芝生広場の整備として、地元の子どもたちや地域の人達と芝張りを実施した。遊具広場との相乗効果により、幅広い年齢の児童が楽しめる空間づくりや施設全体の魅力向上を図った。	○

<p>東部市民センター施設活用 【東部市民センター】</p>	<p>東部市民センター図書室の移転後の活用について、音楽や軽運動ができる目的別のスペースを確保し、多様な機能を有する地域の拠点施設として整備する。</p>	<p>平成31年2月にリニューアルオープンしたセミコンサート室、第1・2音楽室、第1・2軽運動室、多目的室を活用し、さまざまな講座を実施した。また、金融機関跡地にキッズスペースを整備し、託児付き講座を実施した。</p>	<p>より快適に利用してもらうことができた。</p>	<p>○</p>
<p>学校体育施設の開放 【スポーツ課】</p>	<p>市民の健康増進や体力の向上を図るため、スポーツ活動の場として市内の小中学校体育館、中学校武道場及び県立学校体育施設を学校教育に支障のない範囲で開放する。</p>	<p>市立小中学校及び県立学校の体育施設を、学校教育に支障のない範囲で地域住民等に開放することにより、市民の健康の保持増進・体力の向上を図る。 (1)県立学校体育施設開放 開放校：県立春日井高等学校 始め8校の校庭 利用者数：287人 (2)小中学校体育施設開放 開放校数：小中学校52校の体育館及び中学校15校の武道場 利用者数：238,848人</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で休止した期間もあったが、身近な施設でスポーツに親しむ機会を提供できた。</p>	<p>○</p>
<p>松原学習センター 【文化・生涯学習課】</p>	<p>地域住民の生涯学習活動やコミュニティ活動の推進を図るため、松原小学校の余裕教室を活用し、施設の貸館や生涯学習指導員による講座を実施する。</p>	<p>小学校の空き教室を整備し、松原中学校区の住民を対象に講座を実施した。小学校敷地内の施設であり、児童との接触を避けるため、土日のみの講座の開催とした。貸館は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用を休止した。 登録団体：9団体 利用件数：110件 利用者数：1,726人 講座数：30講座 実施講座：脳トレ!!なんでもチャレンジ、アナログレコードを楽しもう、楽しく描こう大人の塗り絵 ほか 受講者数：355人</p>	<p>地域住民に対し、学びの場を提供できた。</p>	<p>○</p>

小学校余裕教室の開放 【文化・生涯学習課】	市民の生涯学習活動の推進とコミュニティの育成に寄与するため、白山小学校、牛山小学校、石尾台小学校の余裕教室を地域の団体に開放する。	子育て支援団体や生涯学習活動団体に空き教室を開放することとしているが、新型コロナウイルス感染防止のため、利用を休止した。 登録団体数：白山小学校：1団体 牛山小学校：1団体 石尾台小学校：3団体	—	—
スタディールーム 【文化・生涯学習課】	公民館、ふれあいセンター等の空き室を有効活用し、学習室として開放することで中高生の自主学習を支援する。	実施施設：中央公民館、知多公民館、鷹来公民館、坂下公民館、味美ふれあいセンター、高蔵寺ふれあいセンター、南部ふれあいセンター、西部ふれあいセンター、東部市民センター、レディヤンかすがい 利用可能日：学校の長期休業期間及び土曜日、日曜日、祝日の午前9時から午後5時まで 利用できる人：市内在住、在学の中学生、高校生 利用人数：5,331人	中高生の自主学習の支援ができた。	○

(3) 施設の適切な維持管理（安全で快適な施設環境の充実に図る。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
計画的な修繕 【公民館、ふれあいセンター等】	施設の定期的な点検を行い、劣化状況等を把握するとともに、施設保全計画に基づき、計画的な修繕を実施する。	高蔵寺ふれあいセンター非常用発電機改修工事 南部ふれあいセンター舞台装置改修工事 西部ふれあいセンター駐車場舗装等修繕 鷹来公民館空調設備改修工事 坂下公民館屋上防水改修工事 青少年女性センター空調機器修繕 ほか	個別施設計画に沿って施設改修等を適切に実施し、快適に施設を利用できるよう環境整備を行った。	○

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2021年度
公民館及びふれあいセンターなどの利用者数	545,177人	548,500人	552,000人	335,309人

施策の評価

達成度（掲載事業数 12）		評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	0	スタディールームは 5,000 人を超える利用者があり、若い世代が施設に足を運ぶきっかけにもなっている。施設の利用については、世代を問わず気軽に利用できるような環境整備が求められる。
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	11	
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	0	新型コロナウイルスの影響により、一部利用制限を設けたが、徐々に通常に戻りつつある。これまで以上に利用者に親しまれる施設となるよう、より安全で快適な施設環境の充実に期待する。
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	0	
— 評価なし	1	

施策 4-2 自主的な学習活動への支援

(1) 図書館・図書室の充実（市民の自主的・自発的な学習活動を活性化する。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
図書資料の充実 【図書館】	利用者のニーズに応じた図書資料の充実に努めるとともに、地域性や利用者ニーズ等を配慮した排架に努め、利用しやすい環境を整えます。	市民のニーズ、社会情勢の変化に対応し、幅広い分野から資料選定を行い、図書館（室）の資料の継続的な充実を図った。 図書の蔵書数 春日井市図書館 603,487冊 高蔵寺まなびと交流センター図書館 77,707冊 味美ふれあいセンター始め9図書室 104,460冊 合計 785,654冊 (6,253冊増)	地域性のある特色を持った蔵書構成となるよう留意し、郷土や書道に関する資料については積極的に収集を行った。 また、各図書室の資料の充実を図った。	○
ティーンズサービスの充実 【図書館】	中学生・高校生（10代）の利用促進を図るため、TC（ティーンズコーナー）通信を発行するとともに、中学生・高校生の意見を取り入れながらサービスの充実を図る。	(1)TC（ティーンズコーナー）通信発行 年6回 (2)TC蔵書の拡充 令和2年度末5,484冊 → 令和3年度末5,634冊 (3)10代の未来さがし講座 「読書が楽しくなる方法～一冊の本から見える世界～」 日 時：8月24日（火） 場 所：文化フォーラム春日井 受講者数：児童・生徒9名、保護者1名 (4)図書館ティーンズコーナーに、中高生が意見を記入し投函できるTCポストを設置 投函枚数1枚	10代に向けた事業を展開し、図書に親しむ機会を提供できた。	○

(2) ICTを活用した学習の推進（市民の自主的・自発的な学習活動を活性化する。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
eラーニングの普及・啓発 【文化・生涯学習課】	忙しくて学習活動に取り組めない市民の学習機会の拡大に向け、いつでもどこでも学ぶことができるeラーニングの普及・啓発を図る。	大学連携講座 実施数：3講座 実施講座：「芸どころ名古屋」を支えてきたもの、エジプト考古学者の解説付き！古代エジプトの遺跡をめぐるバーチャルツアー、どうしたらいいの…？思春期の親子関係 配信形態：YouTube、Zoom 受講者数：49人	自宅でも学べる機会を提供できた。	○
eラーニングの普及・啓発 【公民館等】	忙しくて学習活動に取り組めない市民の学習機会の拡大に向け、いつでもどこでも学ぶことができるeラーニングの普及・啓発を図る。	ZOOMによるオンライン講座を実施した。 (1)知多公民館 実施数：1講座 実施講座：教えて！就活メイク～あなたの夢に一步近づくために～ 受講者数：3人 (2)東部市民センター 実施数：1講座 実施講座：姿勢美人を目指す！家庭でエクササイズ 受講者数：20人	自宅でも学べる機会を提供できた。	○
遠隔生涯学習講座の導入 【文化・生涯学習課】	コンピューターネットワークを活用し、講座が開催される会場まで来ることが困難な方でも、別会場で同一の内容の講座が受けられる仕組みづくりを検討する。	複数施設をインターネットでつないだ講座にも活用できるように、各施設の集会室にインターネット環境を整備するよう検討をすすめ、令和4年度に各施設の集会室等にWi-Fi環境を整備することとした。 講座の実施については、引き続き検討を進めることとした。	市民ニーズの把握を行い、先進事例、情報機器等の情報を収集し、研究を進める。	△

(3) 生涯学習活動団体への活動支援（地域の活力向上や市民の多様な学習活動の活性化を図る。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
生涯学習活動団体への支援 【公民館・ふれあいセンター】	一定の要件を満たした生涯学習に関する事業及び活動を行う団体を認定することで、公民館等の使用料を減免するとともに、団体同士の交流を促進する。	生涯学習活動団体等 公民館 268団体 3,983人 ふれあいセンター 183団体 2,638人 青年の家 63団体 729人 市民活動支援センター 14団体 158人 レディヤンかすがい 131団体 4,539人 12,047人 ※使用料減免のほか、PRポスター団体の作品展示スペースを提供するなど、活動を支援した。 活動の様子をYouTubeで紹介した。	これまでのポスター等によるPRに加え、活動の様子をYouTubeで配信することで、活動の支援ができた。	○
文化スポーツイベント補助金 【スポーツ課】	個人及び文化・スポーツ活動団体が、全国的規模で開催する公演の実施や全国的規模のスポーツ大会に出場した際等に、補助金を交付する。	スポーツの振興及び競技力の向上を図るため、国際大会・全国大会に出場した市民に文化スポーツイベント補助金を交付した。 国際大会出場補助：個人 3件、団体 0件 全国大会出場補助：個人 100件、団体 12件 全国大会開催補助 1件（第31回全国高等学校剣道選抜大会）	令和2年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全国大会等が中止されることが多く、全国大会等への出場者も減少したが、徐々に全国大会等の開催数が増え、出場者も増加した。	○
文化スポーツイベント補助金 【文化・生涯学習課】	個人及び文化・スポーツ活動団体が、全国的規模で開催する公演の実施や全国的規模のスポーツ大会に出場した際等に、補助金を交付する。	周年記念事業実施2団体 国内での文化事業への参加 0団体、個人0人	新型コロナウイルス感染症の影響下で各団体の活動は厳しい面もあったが、文化活動団体への補助金交付により、市民の文化活動の支援を行うことができた。	○

春日井市スポーツ協会運営費補助金【スポーツ課】	スポーツ協会の運営や、学校区体育振興会を含む加盟団体の育成、各加盟団体が行うスポーツ教室等の助成を通して地域のスポーツ振興を図るため、スポーツ協会に補助金を交付する。	スポーツ協会の運営及び加盟40団体の育成、各競技団体が行うスポーツ教室等を助成により、スポーツの振興を図った。 (1)市民体育大会総合開会式 新型コロナウイルス感染対策として中止 優秀表彰 個人7人 一般表彰 個人7人 (2)各競技団体が行う事業 スポーツ教室、選手派遣及び育成事業、団体主催事業ほか	感染対策を講じながら、一部活動することができた。	○
-------------------------	---	--	--------------------------	---

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2021年度
生涯学習活動団体の会員数	14,868人	15,000人	15,000人	12,047人

施策の評価

達成度（掲載事業数9）		評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	0	<p>動画配信などオンラインでの講座も実施され、市民の学習機会を広げるものとして有効なものだと認められる。今後、各施設へのインターネット環境の整備が進めば、講座や施設利用者の学習活動の幅も広がるため、ICTの活用についてさらに研究を進められたい。</p> <p>団体への活動支援は、より多くの市民が生涯学習に取り組むことができるよう支援の継続に期待する。</p>
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	8	
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	1	
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	0	
— 評価なし	0	

施策 4-3 関係機関とのネットワークの構築

(1) 大学や企業などとの連携強化（市民の学習ニーズに対応し、様々な学習活動を総合的・体系的に推進するため、高等教育機関、民間団体、企業、近隣自治体とのネットワークの強化を図る。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
大学連携講座 【文化・生涯学習課】	市民の多様化する学習ニーズに応えるため、大学が持つ優れた人材と設備を活用し、高度な内容の講座を実施する。	近隣の大学と連携し講座を実施した。 連携大学：中部大学、椋山女学園大学、名古屋女子大学 実施数：9講座（10講座中止） 実施講座：コミュニケーションの社会心理学、古代天文 学者は惑星の動きをどう説明したか ほか 受講者数：157人	近隣の大学との連携により、学びの機会を提供できた。 ZOOMやYouTube配信など、オンラインによる講座も実施できた。	○
民間団体・企業との連携 【公民館・ふれあいセンター】	民間団体や企業が持つ知識やノウハウを活用するため、講座への講師として派遣を要請するなど連携を図る。	(1)公民館 実施数：31講座（4講座中止） 実施講座：間伐材利活用まつり～森の恵みでオリジナル作品をつくろう！～ ほか 受講者数：1,111人 連携先：NPO法人けやきフォーラム、(株)ラポール、ソフトバンク ほか (2)ふれあいセンター 実施数：19講座 実施講座：若旦那会講座、ホテルプラザ勝川シェフの料理教室、持ち込みパソコン講座ほか 受講者数：520人 連携先：ホテルプラザ勝川 ほか	地元企業が講師となる講座を企画することで、地元企業との連携をさらに強めることができた。	○

(2) 近隣自治体との連携強化（市民の学習ニーズに対応し、様々な学習活動を総合的・体系的に推進するため、高等教育機関、民間団体、企業、近隣自治体とのネットワークの強化を図る。）

事業名	事業概要	令和3年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
愛日社会教育担当者 連絡会 【文化・生涯学習課】	近隣市町との連携や情報共有を図るため、小牧市や瀬戸市を始め 11 市町で構成された愛日社会教育担当者連絡会に参加する。	愛日社会教育担当者連絡会に参加し、情報交換を行った。 5月10日（月）：名古屋市三の丸庁舎 8月、1月：書面開催	担当者の見識を深めるとともに、生涯学習の課題等について情報交換を行うことができた。	○

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2021年度
大学連携講座の講座数	17講座	20講座	24講座	9講座

施策の評価

達成度（掲載事業数 3）		評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	0	大学、民間企業、NPO 法人などが持つ、地域の人的資源、設備、情報などを生かし、さらに多様な学習機会の提供ができよう、より充実した事業展開を期待する。
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	3	
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	0	
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	0	
— 評価なし	0	

◆推進計画全体（計画期間4年目）の評価

令和3年度も、令和元年度末から広まった新型コロナウイルス感染症の影響を受けた年となった。成果指標となる人数等は目標値には至らなかったものが多いが、それぞれ感染対策を行いながら工夫を重ねて事業実施し、様々な手法で学習の機会を提供している。

感染症の問題がいつまで継続するかは見通せないが、コロナ禍での「新しい生活様式」、コロナ後の「新しい生活様式」の中で、人生100年時代にふさわしい継続した学びが実施できるよう、長期的な視野で検討を重ねていくことが引き続き望まれる。